

第56回鳥取県健康対策協議会理事会

- 日 時 令和7年7月10日(木) 午後3時～午後4時15分
- 場 所 テレビ会議 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町
鳥取県西部医師会館 米子市久米町
- 出席者 41人(理事32人、監事2人、オブザーバー2人、事務局5人)
オブザーバー：県健康医療局健康政策課(松原係長)
鳥取県保健事業団(米本常務理事兼事務局長)
健対協事務局：岡本事務局長、田中尚・田中貴両係長
岩垣主任、廣瀬主事

司会：岡田理事

規約第6条により、会長は鳥取県医師会長とし、副会長は鳥取大学医学部長及び鳥取県福祉保健部長をあてることになっている。会長、副会長よりご挨拶をいただいた。

挨拶

〈清水正人会長(鳥取県医師会長)〉

本日は健対協理事会にご参集いただき感謝申し上げます。

本会は昭和46年に発足し、鳥取県、鳥取大学医学部、鳥取県医師会の三者が一体となって市町村が行う各種がん検診の精度管理を中心に、県民の健康保持増進のため多岐にわたる事業を行っている。本日は令和6年度事業報告・決算、令和7年度事業計画・予算について審議をお願いしたい。本県の令和5年の75歳未満がん年齢調整死亡率は男女計62.9と全国17位で、鳥取県第3次がん対策推進計画の目標値70.0未満を達成した。国立がん研究センターが都道府県別統計を始めた平成7年以降死亡率数値は最も良化し、数値は増減を繰り返しながら着実に減少している。本日は忌憚のない意見交換をよろしくお願いする。

〈中西副会長(鳥取県福祉保健部長)〉

日頃より本県の保健医療行政にご協力いただき御礼申し上げます。

現在国では医師偏在対策を進めている。医師の全体数は充足しているものの偏在が指摘され、本県は医師多数県と分類された。この影響で令和7年度鳥取大学医学部の定員が削減された。医師多数県とされた全国13県と清水会長を含む各県医師会長の連名で国へ要望し、令和8年度は鳥取大学医学部は削減なしとなったが、国は依然として偏在対策を進めており、繰り返し要望が必要である。本日も知事が厚労省へ要望に行っている。県民の健康保持増進には医師確保は重要であり、今後とも医師会、鳥取大学医学部とも連携を取りながら様々な分野の政策に取り組んでまいりたい。

理事の異動(敬称略)

今年度は任期中ではあるが、鳥取県、鳥取大学医学部の人事異動により4月1日より役員に就任された方は次のとおりである。

〈副会長〉鳥取大学医学部長 永島 英樹
〈理事〉
鳥取県病院局病院事業管理者 萬井 実

鳥取県健康医療局医療政策課長 米田 裕一
鳥取県健康医療局医療・保険課長 小寺 康博
鳥取大学医学部教授 黒崎 雅道
鳥取県立中央病院長 千酌 浩樹*

(※令和7年6月14日付就任)

役員名簿は別添のとおり(留任役員38名、新任役員6名)。任期は令和8年3月31日まで。

理事42人に対し32人の出席があり、規約11条第4項により、過半数以上が出席のため、理事会の開催が成立した。

議事進行：議長は清水会長

議 事

1. 令和6年度事業報告

各専門委員会の活動状況は、報告資料をもって説明に代えた。

令和6年度事業報告(別記1)、総合部会(別記2)、令和5年度実績・令和6年度実績(中間)・令和7年度事業計画(参考)。

2. 令和6年度決算について

廣瀬主事が説明した(別記3)、(別記4)。

県支出金、鳥取県保健事業団支出金、市町村等委託金、その他委託金については、事業の増減によりそれぞれ補正を行い、収入合計額68,427,832円に対し、支出合計額は62,689,727円、収支差引額は5,738,105円となり、令和7年度に繰り越した。

3. 令和6年度表彰基金決算書、特別事業積立金について

廣瀬主事が説明した(別記5)、(別記6)。

「表彰基金」は、昭和58年9月、健対協が保健文化賞を受賞した時の副賞の賞金を基金として、それ以降、毎年の鳥取県健康対策協議会会長表彰等で支出を行っている。本年3月末現在の基金総額は169,972円である。

「特別事業積立金」は、令和5年度に定期預金積立金を解約し普通預金のみとなっている。本年3月末現在の残額は普通預金利息を含め、

5,027,116円である。

4. 監査報告

尾崎監事より、6月19日の監査結果について適正であった旨の報告があった(別記7)。

事業報告、決算の中で以下の質問があった。

Q. 肺がん対策費の市町村等支出金の支出予算額と支出決算額に大きく差額がある。個別検診分の予算が余ったという理解でよろしいか。理由も教えていただきたい(中村理事)。

A. 読影機器等の保守点検費用と読影謝金として支払いをしている内の約310万円が不用額となった。不要額は令和7年度の保守点検費用として確保している(事務局)。

当初の支出予算においては件数増を見込んでの想定だったが、件数減により収入に見合うだけの支出とならなかった(岡田理事)。

Q. 個別検診の読影会は1回あたりの枚数も多く読影委員に負担をかけている。予算の余剰があるのであれば負担が改善されるような方法を検討していただきたい(中村理事)。

A. マンモグラフィについては読影枚数の上限を設けている。回数の調整や設備投資、読影謝金などについて部会の中で相談していただくことも可能と考える(岡田理事)。

令和6年度決算書、令和6年度表彰基金決算書及び特別事業積立金について、一括承認した。

5. 専門委員会の構成(案)及び専門委員会委員長及び委員の委嘱、鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会等委員の委嘱について(別記8、9、10、11、12、13、14、15、16)

岡田理事より、専門委員会の構成(別記8)、「健対協各種専門委員会委員名簿(別記9)」、「鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会並びに各部会委員名簿(別記10~11)」、「鳥取県母子保健対策協議会委員名簿(別記12)」について説明。

また、「鳥取県がん登録あり方検討ワーキンググループ委員名簿(別記13)」、「母子保健対策小

委員会委員名簿（別記14）」、「拡大新生児マスキリーニング検査小委員会委員名簿（別記15）」、「鳥取県循環器病対策推進に関する小委員会（別記16）」についても、併せて承認された。任期は、令和8年3月31日まで。

上記については、一括承認した。

6. 令和7年度事業計画（案）について

各専門委員長より以下のとおり本年度の事業計画について説明され、承認された（別記17）。

（1）がん登録対策専門委員会：尾崎委員長に代わり岡田理事

2021年（令和3年）のがん罹患・受療状況標準集計を継続する。罹患集計の結果は医師会報、事業報告、ホームページにて公表する。

全国がん登録の登録データの利活用、特にリンク解析について継続検討していく。

令和7年度鳥取県がん登録事業報告書の印刷・配布（継続）。

日本がん登録協議会第34回学術集会参加（愛知県名古屋市）。

（2）胃がん対策専門委員会：岡田委員長

受診者数49,792人、受診率27.4%を予定。内視鏡検診の精度管理を引き続き行っていく。

従事者講習会は大腸がんと合同開催を予定。精密医療機関の更新時期は各地区の順番を調整した上で大腸がんと調整していく。

各市町村が実施する胃がん対策としてのピロリ菌検査、ペプシノゲン検査へも効果的な事業となるよう助言していく。

本県の内視鏡検診は国の指針と異なる体制となっている。当初は令和9年度から対象年齢・受診間隔の変更を予定していたが、システム改修に時間を要することが分かり、令和10年度からの変更へ向けて住民への周知を行っていく。

（3）子宮がん対策専門委員会：皆川委員長

HPV検査単独法による頸がん検診について情報収集を継続する。LBC法を用いてHPV検査と陽性者に対する細胞診検査を同一検体で実施できる体制は整っている。HPV検査単独法は検査結

果によっては次回検査時期や検査内容が異なるなど複雑な体制となることから、市町村のシステム改修も含め乗り遅れないよう準備を進めていく。

HPVワクチンのキャッチアップは終了したが引き続き受診勧奨へ協力していく。

従事者講習会は東部地区で開催予定。

（4）肺がん対策専門委員会：小谷委員長

受診者数は55,217人、受診率は30.4%を予定。引き続き禁煙対策、検診の強化に取り組む。

保健事業団が実施する集団検診においてAI読影をセカンドリーディングとして取り入れているため、結果について委員会で報告していく。

国のプロセス指標が厳しくなり昨年度実績ではクリアできていない。今後は勉強会を増やして読影力向上の精度管理に努めていく。

従事者講習会は2月に西部で開催予定。

（5）乳がん対策専門委員会：山口委員長に代わり鈴木部会長

国が推奨するブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）について認知度が十分とは言えない。住民へ普及・啓発を行っていく。

プロセス指標は圏域によって達成できていない項目もあり、新基準に合わせた精度管理を行っていく。

デジタルマンモグラフィの普及に伴いデジタル読影装置の普及が必要。東部は設置済みだが中西部は未設置。読影に際し手間がかかっているため、導入へ向けた検討・働きかけをしていく。また読影委員は近年減少傾向で各委員の負担が大きくなっている。新たな読影委員の確保を働きかけしていく。

従事者講習会は9月に東部で開催予定。

（6）大腸がん対策専門委員会：濱本委員長

受診者数は53,754人、受診率は29.6%を予定。コロナ以降減少した受診率は以前まで回復していない。

精検受診率は74.9%で旧基準のプロセス指標は達成しているものの、新基準（90%以上）には到達していない。精検受診率向上に向けた取り組み

を継続していく。

逐年検診受診者の進行がん発見症例が毎年20名程度ある。留意すべき症例については地区症例検討会で問題点の検討を行う。

従事者講習会は胃がんと合同開催を予定。精密医療機関の更新時期は各地区の順番を調整した上で胃がんと調整していく。

(7) 肝臓がん対策専門委員会：孝田委員長に代わり岡田理事

国庫事業の肝炎ウイルス検査は16市町村で3,894人、市町村単独事業は8町で1,013人の予定。

今年度も肝臓がん検診により発見されたB型およびC型肝炎ウイルス陽性者に対して精密医療機関を通じて年2回以上の受診を勧奨する。また、肝炎医療コーディネーターを育成しコーディネーターによる啓発活動を推進する。

近年NBNC型肝臓がんが増えてきている。西部地区ではFIB-4インデックスによる拾い上げを検討してきたが、年齢によって擬陽性が多い特徴がある。現在FIB-3インデックスの検討を進めている。

従事者講習会は7月に鳥取県医学会と同時開催。

(8) 若年者心臓検診対策専門委員会：吉田委員長
各学校での心電図検診は5月末で終了し、現在は精密検査対象者への検査が実施されている。

委員会は6月28日に鳥取県健康会館において開催した。コロナ以降精検受診率の低下が見られていたが特に小学校で目立つことから、県教委を通じて原因を調査していただく。

心臓検診従事者講習会は今年度は令和8年2月1日(日)に本県で開催される第57回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会と同日開催する。例年2月に中部で開催している学校医・園医研修会とは別日開催とする。

(9) 母子保健対策専門委員会：難波委員長

母子保健に関するデータの効果的・効率的な集計・評価・分析のあり方を検討する。

母子保健にかかる「切れ目ない支援体制」の強

化へ向けて、子ども家庭庁から1か月児及び5歳児健康診査支援事業の推進が求められている。健診医確保のための持続可能性を念頭に置いた鳥取県版の体制整備を推進していく。

本県で実施されている5歳児健診は発達特性による就学後の学校生活の困難さに対するスクリーニングに有効であることがサンプル調査により示されている。令和5年度より子ども家庭庁の事業として予算化され簡易マニュアルも公表された。その内容に沿った改訂も小委員会において検討する。

本県ではタンデムマス法を用いた新生児マススクリーニングを実施している。さらに9疾患を加えた拡大新生児マススクリーニング検査を今年度から全県で実施する。

(10) 疾病構造の地域特性対策専門委員会：瀬川委員長

【疾病構造の地域特性対策調査研究】

①「鳥取県の肝細胞癌の実態と非ウイルス性肝疾患の拾い上げ事業」

以下の3事業を2024年度に引き続き並行して行う。

1. 鳥取県内の拠点9病院において2023年度に診療した初発肝細胞癌(HCC)の成因やサーベイランスの遵守状況を中心とした実態調査。
2. 鳥取市立病院、済生会境港総合病院、日野病院において「FIB-4 index 2.67以上の糖尿病患者」を対象とした非B非C型(NBNC)HCCのサーベイランス。
3. 特定健診、後期高齢者健診において生活習慣病により受診勧奨となった住民からのFIB-4を用いた拾い上げ事業および高リスク群に対する定期検査による肝臓がん検診を行う。

- ②「2021年の鳥取県におけるがん罹患情報の特性と鳥取県地域がん登録とKDBデータの連結によるがん罹患要因に関する後ろ向きコホート研究 2021年罹患分」

本県のがん罹患、がん死亡の危険因子を明らかにするために、後ろ向きコホート研究を実施する。帰結要因（エンドポイント）は、2016年から2021年のがん罹患およびがん死亡である。2021年のデータがそろえば6年間追跡を行ったコホート研究とみなしてがん罹患やがん死亡の発生した日時を加味した解析の可能性が出るため、正規のコホート研究のための解析の採用が可能かどうか検証する。

- ③「鳥取県における気管支喘息患者の疫学調査」

喘息のため受診した患者の臨床的特性について調査を行う。鳥大呼吸器・膠原病内科を受診した喘息患者の患者背景や治療内容、予後などについて診療年代ごとに分析し、本県における喘息患者の地域特性を明らかにする。また生物学的製剤の投与を必要とする重症喘息患者についても調査する。

- ④「根治的内視鏡治療が可能であった早期食道癌の死因に関するコホート研究」

研究の始まった当初は2016年以前の症例（後ろ向きコホート研究）から得られたリスク因子をそれ以降の前向きコホートで証明することが目的であったが、既に後ろ向きコホートを超える病変数・症例数が集積されており、今年度以降は今までの集積症例を確実に追跡し、その上で前向きコホート内での5年生存率に関与する死亡リスク因子の検討をしていく。

- ⑤「心不全地域連携の調査」

今年度から衣笠先生が引き継いで調査を行う。令和6年度の調査をさらに発展させサブグループ解析を行い、効果的・効率的な地域連携の治療戦略の開発を目指す。特に介護保険の要支援・要介護患者などサポートの必要性が高い患者に重点を置いた解析を行う。また、増悪リスクが高い患者と低い患者の同定方法やリスク

に応じた介入の有効性についても解析を行う。

【母子保健調査研究】

- ⑥「鳥取県における児童・生徒に見られる不登校の要因の年次変化に関する研究」

鳥取大学医学部附属病院を不登校を主訴に受診した児童・生徒ならびに診療経過で不登校となった児童・生徒の診療録を後方視的に調査し、関連要因と支援内容ならびに経過を調査する。

- (11) 公衆衛生活動対策専門委員会：辻田委員長

日本海新聞健康コラム「保健の窓」を計12回、公開健康講座の講演内容について掲載予定。「健康相談室・鳥取県医師会 Q&A」に一般の方からの疾病に対する質問とその回答を計24回掲載予定。県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」は年16回、鳥取県医師会公開健康講座のうち7回を生活習慣病セミナーにあてる。3地区でも3回ずつ同様のセミナーを実施予定。

地域保健対策は現在、次の研究テーマについて検討中。

- (12) 生活習慣病対策専門委員会：谷口委員長

コロナの影響で下がった特定健診受診率は徐々に回復してきているが、更なる受診率向上に向けて受診勧奨をシンボル化したロゴを開発する。また、KDBデータを活用した受診率の低い保険者に対しても啓発を行う。

特定保健指導の実施率は上昇してきているが、被扶養者は低いため指導の工夫を検討する。保健指導従事者のスキル向上のための研修会も継続して実施する予定。

鳥取県循環器病対策推進事業としては、鳥大に脳卒中・心臓病等総合支援センターが設置されたことから、心疾患ならびに脳血管疾患の推進計画に従い計画案の進捗管理と啓発活動を行う。

- (13) 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会：荒金委員長に代わり米田理事説明

地域医療の充実、特に地域医療を担う医師の育成についての検討と鳥取県の健康、医療に関わる計画について検討する。

国が策定した医師偏在指標で「医師多数県」と分類されたことで令和7年度の臨時定員が削減された。今後の対応は不透明であり、引き続き医師会や全国知事会と連携し医学部定員の確保に努めるとともに、鳥取大学と連携し医学部恒久定員を活用して地域枠を拡充していく。

また、令和4年度数値が前年より改善して全国17位となった「がん75歳未満年齢調整死亡率」に関する詳細な分析を行い、令和2年度より取組みを始めたがん登録データとKDBデータ連結による罹患原因分析やがん検診受診状況等について情報共有し、更なるがん死亡率減少に向けた効果的な施策の進め方について意見交換を行う。

事業計画について、以下の要望があった。

1. 子宮がん対策専門委員会について

HPVワクチン接種率は非常に低い状況。上がるような工夫を検討していただきたい。例えば2種混合は11歳で接種可能となるので、その時点で「来年は子宮頸がんワクチンを受けましょう」というようなキャンペーンをしていただくと接種率も向上してくるのでは〈松田理事〉。

→産婦人科としても引き続き協力していきたい。広報活動については行政の力を借りて取り組んでいきたい〈皆川理事〉。

2. 肺がん対策専門委員会について

禁煙対策として加熱式たばこの有害性について住民に周知してほしい〈松田理事〉。

→パンフレットの見直しや新聞広告等も検討したい〈小谷理事〉。

7. 令和7年度予算（案）について

廣瀬主事より説明があり、承認された（別記18、19）。

健対協予算は前年度と同様に県支出金、鳥取県保健事業団支出金、市町村等委託金、その他委託金、県医師会補助金、繰越金を含む諸収入である。令和7年度予算総額は79,758千円で、前年度より984千円増額予算である。

令和7年度事業計画（案）及び予算（案）について、一括承認した。

8. その他

○「JA共済ピンクリボンキャンペーン鳥取2025（仮称）」について

JA共済より乳がん検診の普及啓発のための取組みとしてピンクリボンキャンペーンを実施したいと健対協へ相談があった。鈴木部会長、山口委員長には了承をいただいております、チラシやイベント内容について助言協力していく。

○第57若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会について

令和8年2月1日(日)に鳥取県健康会館において開催する。若年者心臓検診対策専門委員会においてプログラムの検討を進めている。多数のご参加をお願いしたい。

令和7年度鳥取県健康対策協議会役員名簿

(任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日)

(敬称略／順不同)

会 長	清水 正人 (県 医 師 会 長)	理 事	來間 美帆 (県 医 師 会 理 事)
副会長	永島 英樹 (鳥取大学医学部長) ^{※1、3}	〃	山崎 大輔 (〃)
〃	中西 眞治 (県 福 祉 保 健 部 長)	〃	福島 寛子 (〃)
理 事	萬井 実 (県病院局病院事業管理者) ^{※1}	〃	野口圭太郎 (〃)
〃	中西 朱実 (県 子 ども 家 庭 部 長)	〃	武中 篤 (鳥取大学医学部附属病院長)
〃	荒金 美斗 (県 健 康 医 療 局 長)	〃	谷口 晋一 (鳥取大学医学部教授)
〃	角田 智玲 (県健康医療局健康政策課長)	〃	尾崎 米厚 (〃)
〃	米田 裕一 (県健康医療局医療政策課長) ^{※1}	〃	黒崎 雅道 (〃) ^{※1}
〃	小寺 康博 (県健康医療局医療・保険課長) ^{※1}	〃	磯本 一 (〃)
〃	川本かづ代 (県健康医療局健康政策課 がん・生活習慣病対策室長)	〃	難波 範行 (〃)
〃	千酌 浩樹 (県 立 中 央 病 院 長) ^{※2、4}	〃	谷口 文紀 (〃)
〃	藤井 秀樹 (県 保 健 所 長 会 長)	〃	山田 七子 (鳥取大学医学部附属病院教授) ^{※4}
〃	石谷 暢男 (東 部 医 師 会 長)	〃	小谷 昌広 (鳥取大学医学部附属病院 がんセンター長)
〃	安梅 正則 (中 部 医 師 会 長)	〃	鈴木 喜雅 (鈴木クリニック院長)
〃	藤瀬 雅史 (西 部 医 師 会 長)	〃	皆川 幸久 (鳥取県保健事業団 総合保健センター所長)
〃	瀬川 謙一 (県 医 師 会 副 会 長)	〃	中村 廣繁 (鳥取県保健事業団西部 健康管理センター参与)
〃	辻田 哲朗 (〃)	〃	孝田 雅彦 (日 野 病 院 長)
〃	岡田 克夫 (県 医 師 会 常 任 理 事)	〃	濱本 哲郎 (博 愛 病 院 部 長)
〃	三上 真顯 (〃)	〃	吉田 泰之 (岩 美 病 院 長)
〃	秋藤 洋一 (〃)	〃	山口 由美 (鳥取赤十字病院部長)
〃	松田 隆 (〃)	監 事	尾崎 真人 (県 医 師 会 監 事)
〃	池田 光之 (〃)	〃	服岡 泰司 (〃)

※1 令和7年4月1日付けで就任

※2 令和7年6月14日付けで就任

※3 県医師会常任理事

※4 県医師会理事

別 記 (1)

令和6年度鳥取県健康対策協議会事業報告

() の数字は令和6年度決算額

(単位:円)

1. がん登録対策専門委員会【委員長:尾崎米厚(鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野教授)】

事業内容	摘要
1. 令和2年(2020年)がん罹患・受療状況標準集計 2. 補充届出票による遡り調査、各種検診発見がんからの登録 3. 「全国がん登録データベースシステム」運用 ・オンライン届出の研修会(資料の配付)及び利活用 (7,410,935)	1. 日本がん登録協議会第33回学術集会参加(出雲市) 2. 「鳥取県がん登録事業報告書(令和2年集計)」HP掲載

2. 胃がん対策専門委員会【委員長:岡田克夫(鳥取県医師会常任理事)】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 胃がん検診の読影と胃がん検診発見胃がん患者の確定調査 3. 胃がん検診精密検査医療機関登録 4. 胃がん一次検診における内視鏡検査の精度管理 5. 車検診におけるデジタル化に伴う読影 6. 胃がん対策としてのピロリ菌検査・ペプシノゲン検査の検討 (3,475,174)	1. 各地区読影委員会設置 2. 従事者講習会及び症例研究会(ハイブリッド開催) 3. 胃がん検診(X線)実施に係る手引き一部改正 4. 胃がん実施体制の見直し検討(対象年齢・受診間隔) 5. 第55回日本消化器がん検診学会中国四国地方会参加(広島市)

3. 子宮がん対策専門委員会【委員長:皆川幸久(鳥取県保健事業団総合保健センター所長)】

事業内容	摘要
1. 検診実施状況の評価、検討(特に精検受診率の改善) 2. 検診発見がん患者の確定調査 3. 精密検査紹介状及び確定調査結果報告の運用状況評価 4. 若年者の受診率向上対策 5. HPV検査単独法に関する情報収集と課題整理 6. HPVワクチン接種勧奨 (801,638)	1. 従事者講習会及び症例検討会(中部) 2. 子宮がん検診細胞診委員会設置

4. 肺がん対策専門委員会【委員長：小谷昌広（鳥取大学医学部附属病院がんセンター長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 精密検査による肺がん確定診断の調査 3. 肺がん検診精密検査医療機関登録 4. 肺がん医療機関検診実施 5. デジタル化に伴う読影 6. 肺がん検診細胞診検査の精度管理向上対策 (17,574,169)	1. 従事者講習会及び症例研究会（東部） 2. 肺がん検診読影委員会及び細胞診委員会設置 3. 肺がん個別検診読影委員会設置

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：山口由美（鳥取赤十字病院第二外科部長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 乳がん検診一次検査（乳房エックス線撮影）医療機関登録 3. 乳がん検診精密検査医療機関登録 4. 検診発見乳がん患者の確定調査及びマンモグラフィ単独検診の検証 5. 乳がん検診受診票・精検報告書の運用 6. マンモグラフィ読影医師資格更新費用助成 (13,816,808)	1. 従事者講習会及び症例検討会（西部） 2. 各地区症例検討会 3. 乳がん検診マンモグラフィ読影委員会設置 4. 乳がん検診実施に係る手引きの一部改正

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：濱本哲郎（博愛病院院長特別補佐）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 検診発見大腸がん患者の確定調査 3. 大腸がん検診精密検査医療機関登録 (303,971)	1. 従事者講習会及び症例研究会（鳥取県医学会：中部） 2. 大腸がん注腸読影委員会設置 3. 大腸がん検診読影講習会 4. 大腸がん注腸読影指導会

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：孝田雅彦（日野病院長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 肝臓がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見肝臓がん患者の確定調査 (450,320)	1. 従事者講習会及び症例研究会（中部）

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：吉田泰之（岩美病院副院長）】

事業内容	摘要
1. 乳幼児・児童生徒の心臓疾患対策 2. 心電図判読 3. 心臓疾患精密検査医療機関登録 (4,294,309)	1. 各地区判読委員会設置 2. 心臓検診従事者講習会（中部） 3. 第56回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会（岐阜市）

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：難波範行（鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期・小児医学分野教授）】

事業内容	摘要
1. 母子保健事業の評価 2. 母子保健に係る「切れ目のない支援体制」・「鳥取県産後健康診査事業」（令和元年度（平成31年度）より開始） 3. 拡大新生児マススクリーニング検査推進モデル事業の実施に向けて検討 (321,242)	1. 母子保健対策小委員会開催 5歳児健診マニュアル、乳幼児健診マニュアルの改訂について検討 2. 拡大新生児マススクリーニング検査小委員会開催

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：瀬川謙一（鳥取県医師会副会長）】

事業内容	摘要
1. 鳥取県の肝細胞癌の実態と非ウイルス性肝疾患の拾い上げ研究等（5項目） 2. 母子保健調査研究 (2,560,517)	1. 「疾病構造の地域特性対策専門委員会報告（第38集）」発行

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：辻田哲郎（鳥取県医師会副会長）】

事業内容	摘要
1. 健康教育対策 2. 地域保健対策 3. 生活習慣病対策 (1,457,749)	1. 公開健康講座、生活習慣病対策セミナー（とっとり県民カレッジ連携講座）

12. 生活習慣病対策専門委員会【委員長：谷口晋一（鳥取大学医学部地域医療学講座教授）】

事業内容	摘要
1. 特定健診・特定保健指導実施状況の評価、検討 2. 慢性腎臓病対策事業の検討 (842,188)	1. 鳥取県循環器病対策推進計画の進捗管理と課題抽出 2. 循環器病対策推進に関する小委員会（脳・心血管疾患）開催（2回） 3. 循環器病に関する一般向け講演会、多職種連携従事者研修会開催（各1回）

13. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：荒金美斗（鳥取県福祉保健部健康医療局長）】

事業内容	摘要
1. 地域医療の充実、特に地域医療を担う医師の育成についての検討 2. 鳥取県の健康、医療に関わる計画について検討 (76,776)	

令和6年度総合部会記録

部会長 清 水 正 人

令和6年度の生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会を令和6年9月26日、令和7年3月13日の2回開催した。

この会において、各部会長および専門委員長が出席し、特定健診、がん検診、がん登録事業等について鳥取県健康政策課の資料説明にもとづき、各部会を横断的に課題について討議を行った。

1) 新型コロナウイルス感染症流行等により減少したがん検診受診者数は回復傾向であったが、令和5年度は前年度よりすべての部位において受診者数、受診率ともに減少した。前年度と同様に男性より女性の方が受診者数が高く、年齢階級別では70歳以上の受診者数が高く、大きな変化はなかった。

2) 特定健康診査の受診率は年々上昇傾向にあり、全国値よりやや低い値で推移している。特定保健指導の実施率も上昇傾向であり、全国とおおむね同様の値で推移している。

3) 国立がん研究センターが令和5年の75歳未満がん年齢調整死亡率を公表した。鳥取県の男女計の死亡率は、62.9（前年73.7）で17位（前年41位）であった。県第3次がん対策推進計画（H30～R5）の目標値を達成した。

4) プロセス指標の基準値改定について、鳥取県は上限74歳の基準値で評価することとなった。ただし、当面3年間は参考として、上限69歳の基準値も併記し、これまでの検診実績の報告内容は継続しつつ、新たな指標で集計した県計値のページを追加していく。

5) 鳥取県健康対策協議会は、県・大学・医師会の三者で構成され、昭和46年の発足以降様々な健康課題に取り組んできた。他県にない独自の組織であり、令和3年に50周年を迎え、現在13の専門委員会と4つの小委員会を設置し、多岐にわたった事業を行っている。近年活動の幅が広がる中、より効率的に運営することを目指し、令和6年度に「健対協あり方検討委員会」を設置した。この会では、専門委員会の開催方法の見直し（Web開催や書面開催の活用）、財政面の調整、人件費負担額の増額などが議論されている。

また、各種精密検査医療機関の登録要件となる従事者講習会の開催方法についても見直しが進められ、胃がん・大腸がん従事者講習会の合同開催、鳥取県医学会のプログラムに従事者講習会を組み込むことも決定され、講習会の視聴方法（Web配信や後日配信）も引き続き検討が進められている。

(参 考)

令和5年度実績、令和6年度実績（中間）、令和7年度計画について

(単位：人　％)

区　　分		国指標*	令和5年度実績	令和6年度実績見込	令和7年度計画
胃 が ん 検 診	対　象　者　数（人）		181,414	181,414	181,414
	受診者	X線検査（人・率）	7,156（3.9）	8,027（4.4）	8,156（4.5）
		内視鏡検査（人・率）	40,086（22.1）	40,937（22.6）	41,636（23.0）
		合　　計（人・率）	目標値60％達成 47,242（26.0）	48,964（27.0）	49,792（27.4）
	X線検査	要精検者数（人）	518		
		要精検率（％）	許容値11.0％以下 7.2		
		精密検査受診者数（人）	430		
		精検受診率（％）	許容値70％以上 目標値90％以上 83.0		
	診	検診発見がんの者（がんの疑い）	146（48）		
		検診発見がん率（％）	許容値0.11％以上 0.31		
		陽性反応適中度（X線検査）	許容値1.0％以上 1.93		
		確定調査結果（確定癌数・率）	149（0.32）		
子 宮 頸 部 が ん 検 診	対　象　者　数（人）		121,933	121,933	121,933
	受　診　者　数（人）		29,942	31,295	31,863
	受　　診　　率（％）	目標値60％達成	24.6	25.7	26.1
	要精検者数（人）		202		
	判定不能者数（人）		13		
	要精検率（％）	許容値1.4％以下	0.67		
	精検受診者数（人）		169		
	精検受診率（％）	許容値70％以上 目標値90％以上	83.7		
	診	検診発見がんの者（がんの疑い）	1（73）		
		検診発見がん率（％）	許容値0.05％以上 0.003		
		陽性反応適中度	許容値4.0％以上 0.5		
		確定調査結果（確定癌数・率）	1（0.01）		
肺 が ん 検 診	対　象　者　数（人）		181,414	181,414	181,414
	受　診　者　数（人）		52,503	53,924	55,217
	受　　診　　率（％）	目標値60％達成	28.9	29.7	30.4
	要精検者数（人）		1,937		
	要精検率（％）	許容値3.0％以下	3.69		
	精検受診者数（人）		1,714		
	精検受診率（％）	許容値70％以上 目標値90％以上	88.5		
	診	検診発見がんの者（がんの疑い）	35（96）		
		検診発見がん率（％）	許容値0.03％以上 0.07		
		陽性反応適中度	許容値1.3％以上 1.8		
		確定調査結果（確定癌数・率）	49		
	上記のうち原発性肺がん数・率		47（0.09）		

区 分		国指標※	令和5年度実績	令和6年度実績見込	令和7年度計画
乳がん検診	対 象 者 数 (人)		109,121	109,121	109,121
	受 診 者 数 (人)		16,850	17,561	18,007
	受 診 率 (%)	目標値60%達成	15.4	16.1	16.5
	要 精 検 者 数 (人)		1,106		
	要 精 検 率 (%)	許容値11.0%以下	6.56		
	精 検 受 診 者 数 (人)		1,055		
	精 検 受 診 率 (%)	許容値80%以上 目標値90%以上	95.4		
	検診発見がんの者(がんの疑い)		76 (3)		
	検 診 発 見 が ん 率 (%)	許容値0.23%以上	0.45		
	陽 性 反 応 適 中 度	許容値2.5%以上	6.87		
	確定調査結果(確定癌数・率)		77 (0.46)		
大腸がん検診	対 象 者 数 (人)		181,414	181,414	181,414
	受 診 者 数 (人)		52,070	52,583	53,754
	受 診 率 (%)	目標値60%達成	28.7	29.0	29.6
	要 精 検 者 数 (人)		3,870		
	要 精 検 率 (%)	許容値7.0%以下	7.4		
	精 検 受 診 者 数 (人)		2,900		
	精 検 受 診 率 (%)	許容値70%以上 目標値90%以上	74.9		
	検診発見がんの者(がんの疑い)		118 (12)		
	検 診 発 見 が ん 率 (%)	許容値0.13%以上	0.23		
	陽 性 反 応 適 中 度	許容値1.9%以上	3.05		
	確定調査結果(確定癌数・率)		125 (0.24)		

※プロセス指標は旧基準

○検診発見がんの者(率)：精密検査の結果、がんとして診断された者です。

() 内の数値は「がん疑いの者」の数を外数で計上。

※確定癌数(率)：精密検査の結果、がん及びがん疑いと診断された者について、鳥取県健康対策協議会が確定調査を行い、最終的に確定癌とされた者です。

(1) 令和5年度健康増進事業における肝炎ウイルス検査

区 分	対象者数	受診者数	受診率	HBs 陽性者	HCV 陽性者	HBs 陽性率	HCV 陽性率
肝炎ウイルス検査	205,618	3,857	1.9%	46	8	1.2%	0.2%

(精密検査)

区 分	要精検者数	精検受診者数	精検受診率	肝臓がん	肝臓がん疑い	がん発見率
肝炎ウイルス検査	54	34	63.0	0	0	0.00%

令和6年度実績見込み3,843人、令和7年度計画3,894人

(2) 肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査状況

(単位：人 %)

区 分	健康指導 対象者	定期検査 受診者数	定期検査結果			
			慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん	がん疑い
B型肝炎ウイルス陽性者	1,847	913	146 (16.0)	10 (1.1)	3 (0.3)	3 (0.3)
C型肝炎ウイルス陽性者	582	255	28 (11.0)	5 (2.0)	8 (3.1)	3 (1.2)

プロセス指標新基準による算定（令和5年度実績）

			新基準(上限74歳)									
			胃(X線)		子宮			肺		乳		大腸
			検診間隔2年	検診間隔1年	年齢区分	検診以外の受診を考慮	連続受診を考慮					
対象年齢			50-74歳		20-74歳	20-39歳	40-74歳	40-74歳		40-74歳		40-74歳
一次検診	対象者数(人)	①	82,259	82,259	66,572	12,812	53,760	95,752	95,752	53,760	53,760	95,752
	受診者数(人)	②	4,632	4,632	26,842	5,622	21,220	32,344	32,344	14,187	14,187	34,090
	受診率(%)	③=②/①	5.6	5.6	40.3	43.9	39.5	33.8	33.8	26.4	26.4	35.6
一次検診結果	要精検者数(人)	④	320	320	200	101	99	1,020	1,020	985	985	2,197
	要精検率(%)	⑤=④/②	6.91	6.91	0.75	1.80	0.47	3.15	3.15	6.94	6.94	6.44
	新基準値		7.7%以下	7.6%以下	2.5%以下	4.2%以下	1.9%以下	2.4%以下	2.3%以下	6.5%以下	6.4%以下	6.8%以下
精密検査	精検受診者数(人)	⑥	268	268	168	85	83	896	896	943	943	1,627
	精検受診率(%)	⑦=⑥/④	83.8	83.8	84.0	84.2	83.8	87.8	87.8	95.7	95.7	74.1
	新基準値		90%以上									
精密検査結果	がんの者(人)※	⑧	3	3	17	4	13	16	16	68	68	65
	がん発見率(%)※	⑨=⑧/②	0.06	0.06	0.06	0.07	0.06	0.05	0.05	0.48	0.48	0.19
	新基準値		0.19%以上	0.11%以上	0.15%以上	0.18%以上	0.14%以上	0.10%以上	0.05%以上	0.40%以上	0.31%以上	0.21%以上
	陽性反応適中度(%)※	⑩=⑧/④	0.9	0.9	8.5	4.0	13.1	1.6	1.6	6.9	6.9	3.0
	新基準値		2.5%以上	1.5%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.3%以上	4.1%以上	2.2%以上	6.1%以上	4.8%以上	3.0%以上

※新基準では、子宮頸がんのがん発見率と陽性反応適中度は、CIN3以上に対する値

(参考)

			新基準(上限69歳)										
			胃(X線)		子宮				肺		乳		大腸
			検診間隔2年	検診間隔1年	年齢区分				検診以外の受診を考慮		連続受診を考慮		
対象年齢			50-69歳		20-69歳	20-39歳	40-69歳	40-69歳		40-69歳		40-69歳	
一次検診	対象者数(人)	①	50,494	50,494	49,063	12,812	36,251	63,987	63,987	36,251	36,251	63,987	
	受診者数(人)	②	3,239	3,239	23,444	5,622	17,822	20,045	20,045	11,322	11,322	22,166	
	受診率(%)	③=②/①	6.4	6.4	47.8	43.9	49.2	31.3	31.3	31.2	31.2	34.6	
一次検診結果	要精検者数(人)	④	190	190	193	101	92	583	583	846	846	1,324	
	要精検率(%)	⑤=④/②	5.87	5.87	0.82	1.80	0.52	2.91	2.91	7.47	7.47	5.97	
	新基準値		7.1%以下	7.0%以下	2.7%以下	4.2%以下	2.0%以下	2.0%以下	2.0%以下	6.8%以下	6.8%以下	6.2%以下	
精密検査	精検受診者数(人)	⑥	160	160	164	85	79	511	511	815	815	966	
	精検受診率(%)	⑦=⑥/④	84.2	84.2	85.0	84.2	85.9	87.7	87.7	96.3	96.3	73.0	
	新基準値		90%以上										
精密検査結果	がんの者(人)※	⑧	1	1	16	4	12	3	3	53	53	41	
	がん発見率(%)※	⑨=⑧/②	0.03	0.03	0.07	0.07	0.07	0.01	0.01	0.47	0.47	0.18	
	新基準値		0.13%以上	0.08%以上	0.16%以上	0.18%以上	0.15%以上	0.06%以上	0.03%以上	0.38%以上	0.29%以上	0.16%以上	
	陽性反応適中度(%)※	⑩=⑧/④	0.5	0.5	8.3	4.0	13.0	0.5	0.5	6.3	6.3	3.1	
	新基準値		1.9%以上	1.1%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.4%以上	3.0%以上	1.6%以上	5.5%以上	4.3%以上	2.6%以上	

※新基準では、子宮頸がんのがん発見率と陽性反応適中度は、CIN3以上に対する値

別 記 (3)

令和6年度鳥取県健康対策協議会決算書

〈収入の部〉

(単位：円)

款 項 目	予算額	補正額	予算現額	収入済額	増△減	摘 要
1. 県 支 出 金	24,164,000	△2,518,850	21,645,150	21,645,150	0	
1) 委 託 金	20,487,000	△2,518,850	17,968,150	17,968,150	0	
(1) がん登録及び解析 評価事業費委託金	7,242,000	△458	7,241,542	7,241,542	0	委託金6,583,220円 +消費税658,322円
(2) 県民健康対策調査 研究事業費委託金	2,973,000	△412,483	2,560,517	2,560,517	0	委託金2,327,743円 +消費税232,774円
(3) 健康診査管理支援 事業費委託金	2,677,000	△631,723	2,045,277	2,045,277	0	委託金1,859,343円 +消費税185,934円
(4) 生活習慣病予防セミナー 開催事業費委託金	1,450,000	△247,741	1,202,259	1,202,259	0	委託金1,092,963円 +消費税109,296円
(5) がん検診精度確保 事業費委託金	3,704,000	△443,491	3,260,509	3,260,509	0	委託金2,964,099円 +消費税296,410円
(6) 肝臓がん検診従事者 講習会開催等事業費委託金	293,000	0	293,000	293,000	0	委託金266,364円 +消費税26,636円
(7) 肺がん医療機関検診読影 委員会開催事業費委託金	603,000	△139,167	463,833	463,833	0	委託金421,666円 +消費税42,167円
(8) 母子保健推進体制 整備事業費委託金	805,000	△483,758	321,242	321,242	0	委託金292,038円 +消費税29,204円
(9) 循環器病に関する研修会 及び普及啓発等事業	740,000	△160,029	579,971	579,971	0	委託金527,246円 +消費税52,725円
2) 県 負 担 金	3,677,000	0	3,677,000	3,677,000	0	
(1) 事務局強化対策 負担金	3,677,000	0	3,677,000	3,677,000	0	
2. 鳥取県保健事業団支出金	25,245,000	△7,683,548	17,561,452	17,561,452	0	
1) 委 託 金	24,845,000	△7,683,548	17,161,452	17,161,452	0	
(1) 胃 集 検 読 影 事業費委託金	4,840,000	△1,683,000	3,157,000	3,157,000	0	@440×7,175件 (消費税等込み)
(2) 子 宮 が ん 検 診 事業費委託金	1,009,000	△591,110	417,890	417,890	0	細胞診1次直接塗抹法 @440×22件=9,680円 細胞診1次LBC法 @330×592件=195,360円 最終判定 @990×215件=212,850円 (消費税等込み)
(3) 肺 が ん 検 診 事業費委託金	4,586,000	△819,248	3,766,752	3,766,752	0	フィルム読影料 @121×31,122件=3,765,762円 細胞診1次 @440×0件=0円 最終判定 @990×1件=990円 (消費税等込み)
(4) 乳 が ん 検 診 事業費委託金	10,010,000	△3,792,250	6,217,750	6,217,750	0	マンモグラフィ読影料 @770×8,075件 (消費税等込み)
(5) 若 年 者 心 臓 検 診 事業費委託金	4,400,000	△797,940	3,602,060	3,602,060	0	@220×16,373件=3,602,060円 (消費税等込み)
2) 補 助 金	400,000	0	400,000	400,000	0	
(1) 各専門委員会連絡 調整補助金	400,000	0	400,000	400,000	0	

款 項 目	予算額	補正額	予算現額	収入済額	増△減	摘 要
3. 市町村等支出金	23,100,000	206,690	23,306,690	23,306,690	0	
1) 市町村委託金	23,100,000	206,690	23,306,690	23,306,690	0	
(1) 肺がん医療機関検診 事業費委託金	15,400,000	627,880	16,027,880	16,027,880	0	@440×36,427件=16,027,880円 (消費税等込み)
(2) 乳がん検診 事業費委託金	7,700,000	△421,190	7,278,810	7,278,810	0	@770×9,453件=7,278,810円 (消費税等込み)
4. その他委託金	1,056,000	△358,820	697,180	697,180	0	
1) 委 託 金	1,056,000	△358,820	697,180	697,180	0	いなば財団 @220×2,063件=453,860円 (消費税等込み)
(1) 若年者心臓検診 事業費委託金	627,000	△122,540	504,460	504,460	0	岩美病院 @220×230件=50,600円 (消費税等込み)
(2) 胃集検読影 事業費委託金	220,000	△140,800	79,200	79,200	0	中国労働衛生協会 @440×180件=79,200円 (消費税等込み)
(3) 肺がん検診 事業費委託金	132,000	△18,480	113,520	113,520	0	中国労働衛生協会 @132×860件=113,520円 (消費税等込み)
(4) 乳がん検診 事業費委託金	77,000	△77,000	0	0	0	
5. 県医師会補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0	
1) 県医師会補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0	
(1) 運営費補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0	
6. 寄 付 金	1,000	0	1,000	0	△1,000	
1) 寄 付 金	1,000	0	1,000	0	△1,000	
(1) 寄 付 金	1,000	0	1,000	0	△1,000	
7. 諸 収 入	47,000	0	47,000	56,558	9,558	
1) 預 金 利 子	1,000	0	1,000	10,228	9,228	
(1) 預 金 利 子	1,000	0	1,000	10,228	9,228	
2) 労働者保険料 被保険者負担分収入	46,000	0	46,000	45,450	△550	労働保険料事業主立替分収入
(1) 労働者保険料 被保険者負担分収入	46,000	0	46,000	45,450	△550	
3) その他収入	0	0	0	880	880	医学雑誌許諾抄録利用料収入
(1) その他収入	0	0	0	880	880	
8. 繰 越 金	3,861,000	0	3,861,000	3,860,802	△198	
1) 前年度繰越金	3,861,000	0	3,861,000	3,860,802	△198	
(1) 前年度繰越金	3,861,000	0	3,861,000	3,860,802	△198	
収 入 合 計	78,774,000	△10,354,528	68,419,472	68,427,832	8,360	

〈支出の部〉

(単位：円)

款 項 目	予 算 現 額				支出済額	不用額	摘 要
	予算額	補正額	流用増減	計			
1. 総 務 費	6,577,000	△400	0	6,576,600	6,199,322	377,278	
1) 会 議 費	788,000	104,894	0	892,894	669,894	223,000	
(1) 理 事 会 費	788,000	104,894	0	892,894	669,894	223,000	
2) 各 専 門 委 員 会 運 絡 調 整 費	1,396,000	△105,294	0	1,290,706	1,139,588	151,118	
(1) 各 専 門 委 員 会 運 絡 調 整 費	1,396,000	△105,294	0	1,290,706	1,139,588	151,118	
3) 給 料	2,316,000	0	0	2,316,000	2,316,000	0	
(1) 給 料	2,316,000	0	0	2,316,000	2,316,000	0	
4) 納税申告作成費	316,000		0	316,000	312,840	3,160	
(1) 消費税申告作成費	78,000	0	0	78,000	77,110	890	
(2) 会計・給料システム レ シ ョ ナ ル 料	238,000	0	0	238,000	235,730	2,270	
5) 公 租 公 課 費	1,761,000	0	0	1,761,000	1,761,000	0	
(1) 公 租 公 課 費	1,761,000	0	0	1,761,000	1,761,000	0	
2. 健 康 対 策 費	72,197,000	△10,354,128	0	61,842,872	56,490,405	5,352,467	
1) が ん 登 録 費	7,803,000	△458	0	7,802,542	7,410,935	391,607	
(1) が ん 登 録 費	7,803,000	△458	0	7,802,542	7,410,935	391,607	
2) 胃 が ん 対 策 費	5,387,000	△1,823,800	0	3,563,200	3,475,174	88,026	
(1) 胃 が ん 対 策 費	5,387,000	△1,823,800	0	3,563,200	3,475,174	88,026	
3) 子 宮 が ん 対 策 費	1,428,000	△591,110	0	836,890	801,638	35,252	
(1) 子 宮 が ん 対 策 費	1,428,000	△591,110	0	836,890	801,638	35,252	※公租公課費 26,721円
4) 肺 が ん 対 策 費	21,031,000	△349,015	0	20,681,985	17,574,169	3,107,816	
(1) 肺 が ん 対 策 費	20,428,000	△209,848	0	20,218,152	17,110,336	3,107,816	※公租公課費 904,300円
(2) 肺がん医療機関検診 読影委員会対策費	603,000	△139,167	0	463,833	463,833	0	
5) 乳 が ん 対 策 費	19,384,000	△4,930,690	0	14,453,310	13,816,808	636,502	
(1) 乳 が ん 対 策 費	18,584,000	△4,290,440	0	14,293,560	13,657,058	636,502	※公租公課費 784,079円
(2) マンモグラフィ読影 医師資格更新助成費	800,000	△640,250	0	159,750	159,750	0	
6) 大 腸 が ん 対 策 費	560,000	0	0	560,000	303,971	256,029	
(1) 大 腸 が ん 対 策 費	560,000	0	0	560,000	303,971	256,029	

健康対策費のうち以下の項目で公租公課費1,715,100円支出
 ※ 子宮がん対策費 26,721円
 肺がん対策費 904,300円
 乳がん対策費 784,079円
 計1,715,100円
 合計 3,476,100円

款 項 目	予 算 現 額				支出済額	不用額	摘 要
	予算額	補正額	流用増減	計			
7) 肝臓がん対策費	575,000	0	0	575,000	450,320	124,680	
(1) 肝臓がん対策費	575,000	0	0	575,000	450,320	124,680	
8) がん検診精度確保対策費	3,004,000	196,759	0	3,200,759	3,104,609	96,150	
(1) がん検診精度確保対策費	3,004,000	196,759	0	3,200,759	3,104,609	96,150	
9) 若年者心臓検診対策費	5,257,000	△920,480	0	4,336,520	4,294,309	42,211	
(1) 若年者心臓検診対策費	5,257,000	△920,480	0	4,336,520	4,294,309	42,211	
10) 母子保健対策費	829,000	△483,758	0	345,242	321,242	24,000	
(1) 母子保健対策費	829,000	△483,758	0	345,242	321,242	24,000	
11) 県民健康対策費	3,011,000	△412,483	0	2,598,517	2,560,517	38,000	
(1) 疾病構造調査等研究費	3,011,000	△412,483	0	2,598,517	2,560,517	38,000	
12) 公衆衛生活動費	2,139,000	△247,741	0	1,891,259	1,457,749	433,510	
(1) 地域保健対策費	451,000	45,928	0	496,928	205,928	291,000	
(2) 健康教育対策費	450,000	△111,087	0	338,913	338,913	0	
(3) 公開健康講座対策費	284,000	0	0	284,000	255,490	28,510	
(4) 生活習慣病対策費	954,000	△182,582	0	771,418	657,418	114,000	
13) 生活習慣病対策費	1,650,000	△791,352	0	858,648	842,188	16,460	
(1) 生活習慣病対策費	1,650,000	△791,352	0	858,648	842,188	16,460	
14) 地域医療研修及び健康情報対策費	139,000	0	0	139,000	76,776	62,224	
(1) 地域医療研修及び健康情報対策費	139,000	0	0	139,000	76,776	62,224	
支 出 合 計	78,774,000	△10,354,528	0	68,419,472	62,689,727	5,729,745	

収入済額 68,427,832円

支出済額 62,689,727円

差引残額 5,738,105円（令和7年度へ繰越）

別 記 (4)

令和6年度鳥取県健康対策協議会予算決算対照表

(単位：円)

事業名	支出予算額 支出決算額	内 訳					
		県支出金	事業団支出金	市町村等支出金	その他委託金	医師会補助金	利息その他
1. がん登録対策	7,802,542	7,241,542				24,000	537,000
	7,410,935	7,241,542				24,000	145,393
2. 胃がん対策	3,563,200	262,000	3,157,000		79,200		65,000
	3,475,174	262,000	3,133,974		79,200		0
3. 子宮がん対策	836,890	270,000	417,890			80,000	69,000
	801,638	270,000	417,890			80,000	33,748
4. 肺がん対策	20,681,985	723,833	3,766,752	16,027,880	113,520		50,000
	17,574,169	723,833	3,766,752	12,970,064	113,520		0
5. 乳がん対策	14,453,310	419,750	6,217,750	7,278,810	0		537,000
	13,816,808	419,750	6,118,248	7,278,810	0		0
6. 大腸がん対策	560,000	260,000				130,000	170,000
	303,971	260,000				43,971	0
7. 肝臓がん対策	575,000	293,000				110,000	172,000
	450,320	293,000				110,000	47,320
8. がん検診精度 確保対策	3,200,759	3,100,759				45,000	55,000
	3,104,609	3,100,759				3,850	0
9. 若年者心臓検診 対策	4,336,520	200,000	3,602,060		504,460		30,000
	4,294,309	200,000	3,589,849		504,460		0
10. 母子保健対策	345,242	321,242					24,000
	321,242	321,242					0
11. 県民健康対策	2,598,517	2,560,517					38,000
	2,560,517	2,560,517					0
12. 公衆衛生活動 対策	1,891,259	1,202,259	400,000			195,000	94,000
	1,456,726	1,202,259	254,467			0	0
13. 生活習慣病対策	858,648	808,648				20,000	30,000
	843,211	808,648				20,000	14,563
14. 地域医療研修及び 健康情報対策	139,000					130,000	9,000
	76,776					76,776	0
15. 総 務 費	6,576,600	3,981,600				566,000	2,029,000
	6,199,322	3,981,600				566,000	1,651,722
合 計	68,419,472	21,645,150	17,561,452	23,306,690	697,180	1,300,000	3,909,000
	62,689,727	21,645,150	17,281,180	20,248,874	697,180	924,597	1,892,746

別 記 (5)

表 彰 基 金

(令和7年3月31日現在)

1. 基金運用収支

(単位：円)

科 目	年度初現在高	増	減	年度末現在高	摘 要
1. 収 入					
前年度繰越金	169,894			169,894	
普通預金利息		78		169,972	
2. 支 出			0	0	
計	169,894	78	0	169,972	

別 記 (6)

鳥取県健康対策協議会特別事業・決算

(令和7年3月31日現在)

1. 普通預金収支

(単位：円)

科 目	年度初現在高	増	減	残 額	摘 要
1. 収 入					
前年度繰越金	1,025,045				
健対協会計より繰入		4,000,000			
雑 入		2,071		5,027,116	(令和5年度決算剰余金から)
計	1,025,045	4,002,071	0	5,027,116	普通預金利息

別 記 (7)
(写)

監 査 報 告 書

鳥取県健康対策協議会規約第6条8項の規程により、令和6年度鳥取県健康対策協議会事業報告・収入支出予算の執行について関係諸帳簿等を監査した結果適正であることを認めます。

令和7年6月19日

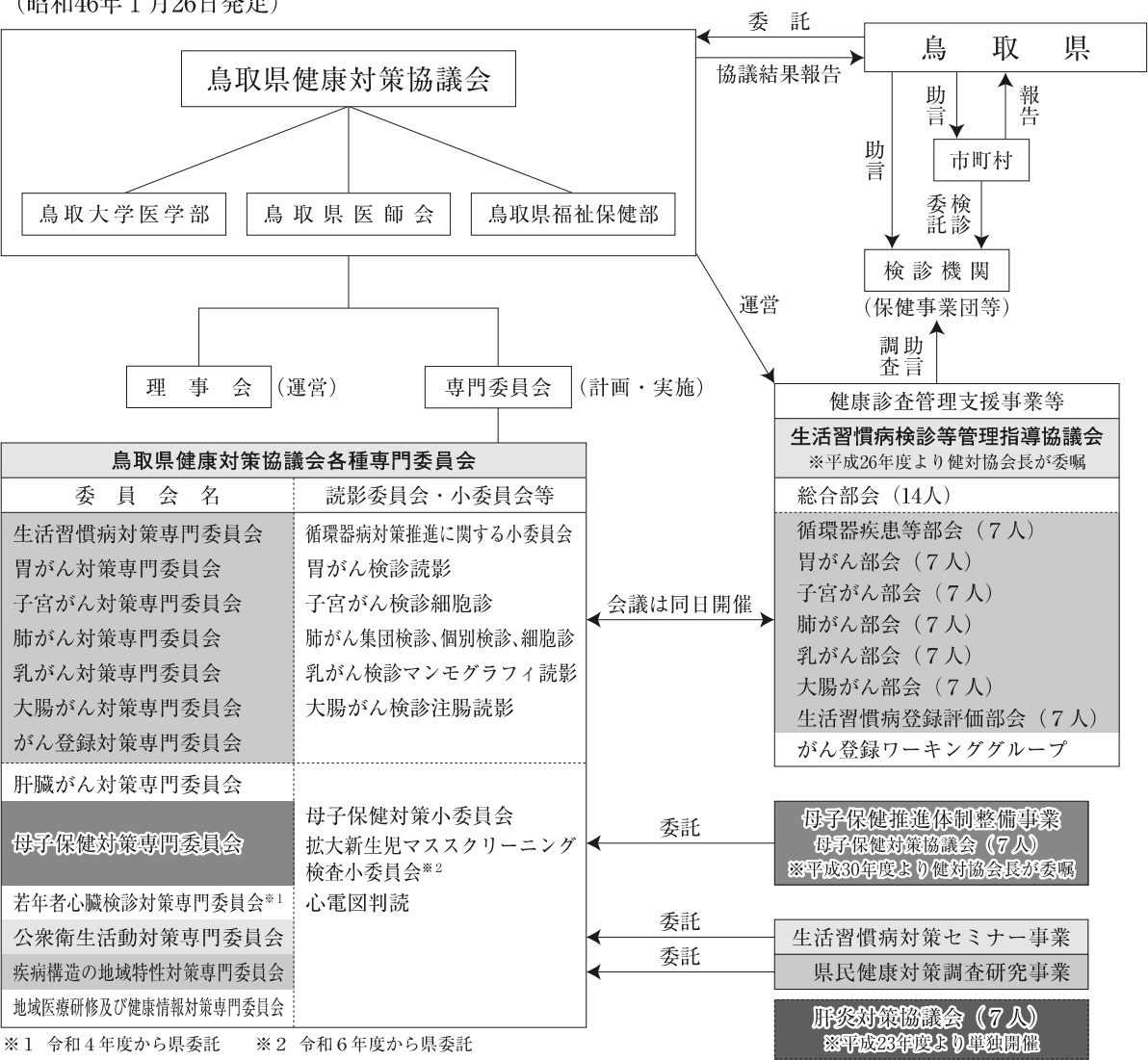
監 事 尾 崎 眞 人 印
監 事 服 岡 泰 司 印

鳥取県健康対策協議会
会 長 清 水 正 人 殿

別 記 (8)

鳥取県健康対策協議会と生活習慣病検診等管理指導協議会組織図

(昭和46年1月26日発足)



別 記（9）

令和7年度鳥取県健康対策協議会専門委員会委員名簿

（任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日）

- ※1 令和7年4月1日就任
- ※2 令和7年6月14日就任
- ※3 令和7年7月1日就任

1. がん登録対策専門委員会【委員長：尾崎米厚（鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野教授）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事）	川本かづ代（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）	武中 篤（附属病院院長）
秋藤 洋一（県医師会常任理事）	千酌 浩樹（県立中央病院院長）※2	磯本 一（統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野教授）
大石 正博（鳥取市立病院院長）	花木 啓一（県立厚生病院院長）	
杉谷 篤（博愛病院部長）	小倉加恵子（倉吉保健所長）	
田中 尚樹（県医師会事務局）※1		
齊藤 博昭（東部医師会）		
野田 博司（中部医師会）		
大山 賢治（西部医師会）		

2. 胃がん対策専門委員会【委員長：岡田克夫（鳥取県医師会常任理事）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
瀬川 謙一（県医師会副会長）	川本かづ代（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）	磯本 一（統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野教授）
秋藤 洋一（県医師会常任理事）	田中 究（県立中央病院部長）	藤原 義之（器官制御外科学講座消化器・小児外科学分野教授）
齊藤 博昭（鳥取赤十字病院副院長）	野口 直哉（県立厚生病院医療局副局長兼統括部長）	八島 一夫（統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野准教授）
尾崎 真人（東部医師会）	吉田 慧（西部総合事務所米子保健所医 薬・感染症対策課課長補佐）	
門脇 義郎（中部医師会）		
小酒 慶一（西部医師会）		

市町村保健師代表者：福田 香織（三朝町役場企画健康課主査）
鳥取県保健事業団：三宅 二郎（健診事業部次長）

3. 子宮がん対策専門委員会【委員長：皆川幸久（鳥取県保健事業団総合保健センター所長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事）	川本かづ代（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）	谷口 文紀（器官制御外科学講座産科婦人科学分野教授）
村江 正始（鳥取県産婦人科医会長）	高橋 弘幸（県立中央病院部長）	佐藤 慎也（附属病院女性診療科群講師）
明島 亮二（中部医師会）	周防 加奈（県立厚生病院部長）	
脇田 邦夫（西部医師会）	長井 大（鳥取市保健所長）	

市町村保健師代表者：前田 知子（南部町役場健康対策課主幹保健師）
鳥取県保健事業団：藤井 和晃（健診事業部長）

4. 肺がん対策専門委員会【委員長：小谷昌広（鳥取大学医学部附属病院がんセンター長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事）	角田 智玲（県健康医療局健康政策課長）	田中 雄悟（器官制御外科学講座呼吸器・ 乳腺内分泌外科学分野教授）
三上 真顯（県医師会常任理事）	前田 啓之（県立中央病院部長）	山口 耕介（統合内科医学講座呼吸器・膠原病内科学分野講師）
中村 廣繁（保健事業団西部健康管理センター参事）	徳安 祐輔（県立中央病院部長）	
杉本 勇二（さとに田園クリニック）	高木 雄三（県立厚生病院部長）	
池田 光之（東部医師会）	西尾 靖子（鳥取市保健所健康づくり推進課長）	
岡田耕一郎（中部医師会）		
服岡 泰司（西部医師会）		

市町村保健師代表者：横山 有里（岩美町役場健康福祉課保健師）

鳥取県保健事業団：津村 望（西部健康管理センター健診課長）

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：山口由美（鳥取赤十字病院第二外科部長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事）	川本かづ代（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）	田中 裕子（附属病院胸部外科診療科群助教）
來間 美帆（県医師会理事）	前田 啓之（県立中央病院部長）	
廣岡 保明（博愛病院長）	永美 知沙（中部総合事務所倉吉保健所 健康支援総務課課長補佐）	
小寺 正人（鳥取市立病院診療局長）		
小林 哲（小林外科内科医院長）		
尾崎 舞（東部医師会）		
大田里香子（中部医師会）		
鈴木 喜雅（西部医師会）		

市町村保健師代表者：宇佐見和美（米子市健康対策課係長）

鳥取県保健事業団：宮脇 朋子（施設健診課放射線係長）

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：濱本哲郎（博愛病院消化器内科部長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
瀬川 謙一（県医師会副会長）	川本かづ代（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）	八島 一夫（統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野准教授）
岡田 克夫（県医師会常任理事）	柳谷 淳志（県立中央病院部長）	
秋藤 洋一（県医師会常任理事）	藤井 秀樹（米子保健所長）	
田中 久雄（千代水の森おなかと 内科のクリニック院長）		
後藤 大輔（東部医師会）		
牧野 正人（中部医師会）		
山口 研一（西部医師会）		

市町村保健師代表者：佐藤あゆみ（琴浦町役場すこやか健康課主任保健師）※1

鳥取県保健事業団：片岡 憲一（健診事業部次長）

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：孝田雅彦（日野病院長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
瀬川 謙一（県医師会副会長）	角田 智玲（県健康医療局健康政策課長）	永原 天和（統合内科医学講座消化器・腎臓内科医学分野講師）
岡田 克夫（県医師会常任理事）	前田 和範（県立中央病院部長）	
前田 直人（山陰労災病院副院長）	三好 謙一（県立厚生病院部長）	
谷口 英明（鳥取市立病院診療局長）	河津 麻樹（西部総合事務所米子保健所 健康支援総務課課長補佐）	
岡野 淳一（済生会境港総合病院部長）		
松木由佳子（鳥取赤十字病院副部長）		
満田 朱理（千代水の森おなかと 内科のクリニック）		
陶山 和子（真誠会セントラルクリニック）		
松田 裕之（東部医師会）		
福羅 匡普（中部医師会）		
大山 賢治（西部医師会）		

市町村保健師代表者：渡邊茉里奈（若桜町役場保健センター保健師）

鳥取県保健事業団：山下 裕子（健診事業部次長）

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：吉田泰之（岩美病院長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事）	松本 夏実（県子ども家庭部参事監）※1 兼子育て王国課長	吉川 泰司（器官制御外科学講座心臓血管外科学分野教授） 美野 陽一（附属病院小児科講師）
船田 裕昭（山陰労災病院部長）	山本 雅丈（県体育保健課長）	
石谷 暢男（東部医師会）	倉信 裕樹（県立中央病院部長）	
西田 法孝（中部医師会）	橋田祐一郎（県立厚生病院部長）	
長田 郁夫（西部医師会）	長井 大（鳥取市保健所長）	

鳥取県保健事業団：三上 慶子（施設健診課臨床検査係長）

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：難波範行（鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期・小児医学分野教授）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事）	遠藤 賢（県子ども家庭部家庭支援課長）※1	前垣 義弘（脳神経科学講座脳神経小児科学分野教授） 山田 祐子（エコチル調査鳥取ユニットセンター特命助教）
松田 隆（県医師会常任理事）	花木 啓一（県立厚生病院長）	
岡田 隆好（県立総合療育センター副院長）	宇都宮 靖（県立中央病院副院長）	
村江 正始（鳥取県産婦人科医会長）	高橋 弘幸（県立中央病院部長）	
村上 潤（山陰労災病院部長）※1	橋田祐一郎（県立厚生病院部長）	
石谷 暢男（東部医師会）	木山 智義（県立厚生病院部長）	
井奥 研爾（中部医師会）	河津 麻樹（西部総合事務所米子保健所 健康支援総務課課長補佐）	
井庭 貴浩（西部医師会）		

市町村保健師代表者：村岡美由紀（北栄町役場教育総務課（子育て世代包括支援センター）保健師）

寺澤 真理（境港市役所健康づくり推進課地域保健係長（保健師））※3

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：瀬川謙一（鳥取県医師会副会長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
清水 正人（県医師会長） 岡田 克夫（県医師会常任理事） 山崎 大輔（県医師会理事）	角田 智玲（県健康医療局健康政策課長）	永島 英樹（医学部長）※ ¹ 武中 篤（附属病院長）

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：辻田哲朗（鳥取県医師会副会長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事） 福嶋 寛子（県医師会理事） 能勢 隆之（中国労働衛生協会） 加藤 達生（東部医師会） 深田 悟（中部医師会） 佐々木修治（西部医師会）	川本かづ代（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長） 山本 雅丈（県体育保健課長） 千酌 浩樹（県立中央病院長）※ ² 小倉加恵子（倉吉保健所長） 池山 恒平（県衛生環境研究所長）	尾崎 米厚（社会医学講座環境予防医学分野教授）

鳥取県保健事業団：米本 幸寿（常務理事兼事務局長）

12. 生活習慣病対策専門委員会【委員長：谷口晋一（鳥取大学医学部地域医療学講座教授）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会常任理事） 野口圭太郎（県医師会理事） 中安 弘幸（中安脳神経・内科クリニック院長） 吉田 泰之（岩美病院長） 山本 了（中部医師会） 越智 寛（西部医師会）	角田 智玲（県健康医療局健康政策課長） 宗村 千潮（県立中央病院医療局長兼腎臓内科部長） 藤井 秀樹（米子保健所長）	黒崎 雅道（脳神経医学講座脳神経外科学分野教授） 花島 律子（脳神経医学講座脳神経内科学分野教授） 高田 知朗（附属病院第二内科診療科群腎臓内科講師）

市町村保健師代表者：岡崎 由佳（鳥取市保健所健康づくり推進課健診推進室主任）
鳥取県保健事業団：梶川 貴子（企画調整課統括保健師）

13. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：荒金美斗（鳥取県福祉保健部健康医療局長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
清水 正人（県医師会長） 岡田 克夫（県医師会常任理事） 山田 七子（県医師会理事） 石谷 暢男（東部医師会長） 安梅 正則（中部医師会長） 藤瀬 雅史（西部医師会長）	西尾 佳子（県ささえあい福祉局長寿社会課長）※ ¹ 米田 裕一（県健康医療局医療政策課長）※ ¹	永島 英樹（医学部長）※ ¹ 武中 篤（附属病院長） 谷口 晋一（地域医療学講座教授） 福本 宗嗣（鳥取県地域医療支援センター専任医師）

鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会委員名簿

(敬称略)

部 会 名	氏 名	勤 務 先	職 名
健 対 協 会 長	清水 正人	清水病院	理 事 長
循 環 器 疾 患 等	○ 黒崎 雅道	鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経外科学分野 ^{*1}	教 授
	谷口 晋一	鳥取大学医学部地域医療学講座	教 授
胃 が ん	○ 磯本 一	鳥取大学医学部統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野	教 授
	岡田 克夫	おかだ内科	院 長
子 宮 が ん	○ 谷口 文紀	鳥取大学医学部器官制御外科学講座産科婦人科学分野	教 授
	皆川 幸久	鳥取県保健事業団総合保健センター	所 長
肺 が ん	○ 中村 廣繁	鳥取県保健事業団西部健康管理センター	参 与
	小谷 昌広	鳥取大学医学部附属病院がんセンター	センター長
乳 が ん	○ 鈴木 喜雅	鈴木クリニック	院 長
	山口 由美	鳥取赤十字病院第二外科	部 長
大 腸 が ん	○ 八島 一夫	鳥取大学医学部統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野	准 教 授
	濱本 哲郎	博愛病院消化器内科	部 長
がん登録対策専門委員会	尾崎 米厚	鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野	教 授

○印は各部会の部会長

※1 令和7年4月1日就任

(参 考)

肝炎対策協議会・肝臓がん対策専門委員会

(敬称略)

委 員 会 名	氏 名	勤 務 先	職 名
肝 炎 対 策 協 議 会	松田 裕之	まつだ内科医院	院 長
肝臓がん対策専門委員会	孝田 雅彦	日野病院	院 長

鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会部会委員名簿

(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

(順不同・アンダーラインは部会長)

部 会 名	氏 名	職 名 (勤務先)
循環器疾患等	黒 崎 雅 道	鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経外科学分野教授※ ¹
	谷 口 晋 一	鳥取大学医学部地域医療学講座教授
	中 安 弘 幸	中安脳神経・内科クリニック院長
	野 口 圭太郎	のぐち内科クリニック院長※ ¹
	花 島 律 子	鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野教授
	藤 井 秀 樹	米子保健所長
	計7名	鳥取県立中央病院医療局長兼腎臓内科部長
胃 が ん	磯 本 一	鳥取大学医学部統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野教授
	岡 田 克 夫	おかだ内科院長
	秋 藤 洋 一	鳥取県保健事業団理事長
	齊 藤 博 昭	鳥取赤十字病院副院長
	瀬 川 謙 一	瀬川医院長
	田 中 究	鳥取県立中央病院消化器内科部長
	計7名	鳥取大学医学部器官制御外科学講座消化器・小児外科学分野教授
子 宮 が ん	谷 口 文 紀	鳥取大学医学部器官制御外科学講座産科婦人科学分野教授
	皆 川 幸 久	鳥取県保健事業団総合保健センター所長
	佐 藤 慎 也	鳥取大学医学部附属病院女性診療科群講師
	周 防 加 奈	鳥取県立厚生病院産婦人科部長
	長 井 大	鳥取市保健所長
	村 江 正 始	鳥取県産婦人科医会長
	計7名	脇 田 邦 夫 脇田産婦人科医院長
肺 が ん	中 村 廣 繁	鳥取県保健事業団西部健康管理センター参与
	小 谷 昌 広	鳥取大学医学部附属病院がんセンター長
	杉 本 勇 二	さとに田園クリニック
	高 木 雄 三	鳥取県立厚生病院胸部外科部長
	田 中 雄 悟	鳥取大学医学部器官制御外科学講座呼吸器・乳腺内分泌外科学分野教授
	徳 安 祐 輔	鳥取県立中央病院病理診断科部長兼臨床検査科部長
	計7名	山 口 耕 介 鳥取大学医学部統合内科医学講座呼吸器・膠原病内科学分野講師
乳 が ん	鈴 木 喜 雅	鈴木クリニック院長
	山 口 由 美	鳥取赤十字病院第二外科部長
	小 寺 正 人	鳥取市立病院診療局長
	小 林 哲	小林外科内科医院長
	廣 岡 保 明	博愛病院長
	前 田 啓 之	鳥取県立中央病院呼吸器・乳腺・内分泌外科部長
	計7名	宮 脇 朋 子 鳥取県保健事業団施設健診課放射線係長

部 会 名		氏 名	職 名（勤務先）
大 腸 が ん	計 7 名	八 島 一 夫	鳥取大学医学部統合内科医学講座消化器・腎臓内科学分野准教授
		濱 本 哲 郎	博愛病院消化器内科部長
		片 岡 憲 一	鳥取県保健事業団健診事業部次長
		後 藤 大 輔	内科・消化器内科 片原ごとうクリニック院長
		佐 藤 あゆみ	琴浦町役場すこやか健康課主任保健師※ ¹
		田 中 久 雄	千代水の森 おなかと内科のクリニック院長
		柳 谷 淳 志	鳥取県立中央病院消化器内科部長兼内視鏡室長
生活習慣病登録評価部会	がん登録委員会 計 7 名	尾 崎 米 厚	鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野教授
		岡 田 克 夫	おかだ内科院長
		小 倉 加恵子	倉吉保健所長
		杉 谷 篤	博愛病院腎臓外科部長
		田 中 尚 樹	鳥取県医師会事務局係長※ ¹
		千 酌 浩 樹	鳥取県立中央病院長※ ²
		花 木 啓 一	鳥取県立厚生病院長

※¹ 令和7年4月1日就任

※² 令和7年6月14日就任

※県は、「鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会設置要綱」を平成26年5月18日に改正

《主な改正点》

- (1)生活習慣病検診等管理指導協議会の運営を鳥取県健康対策協議会に委託
- (2)生活習慣病検診等管理指導協議会委員の委嘱を鳥取県健康対策協議会長に改正
- (3)生活習慣病検診等管理指導協議会の庶務を鳥取県健康対策協議会事務局に改正

別 記 (12)

鳥取県母子保健対策協議会委員名簿

(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

(順不同・アンダーラインは会長)

部 会 名		氏 名	職 名（勤務先）
母子保健対策協議会	計 7 名	村 江 正 始	鳥取産院長
		宇都宮 靖	鳥取県立中央病院副院長
		河 津 麻 樹	西部総合事務所米子保健所健康支援総務課課長補佐
		寺 澤 真 理	境港市役所健康づくり推進課地域保健係長（保健師）※ ¹
		松 田 隆	まつだ小児科医院長
		村 岡 美由紀	北栄町役場教育総務課（子育て世代包括支援センター）保健師
		山 田 祐 子	鳥取大学医学部エコチル調査鳥取ユニットセンター特命助教

※¹ 令和7年7月1日就任

※県は「鳥取県母子保健対策協議会設置要綱」を平成30年6月1日に改正。

協議会委員は、平成30年度より鳥取県健康対策協議会長が任命。

別 記 (13)

鳥取県がん登録あり方検討ワーキンググループ委員名簿

(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

【敬称略／順不同】

所 属	役 職	氏 名
鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野	教 授	尾 崎 米 厚
鳥取県医師会	常任理事	岡 田 克 夫
鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野		三 浦 賀代子
鳥取県福祉保健部	部 長	中 西 眞 治
鳥取県医師会	事務局長	岡 本 匡 史

別 記 (14)

母子保健対策小委員会委員名簿

(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

【敬称略／順不同】

所 属	役 職	氏 名
鳥取県医師会	常任理事	松 田 隆
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経小児科学分野	教 授	前 垣 義 弘
鳥取県立総合療育センター	副 院 長	岡 田 隆 好
鳥取県立厚生病院新生児集中治療室	部 長	橋 田 祐一郎
子育て長田こどもクリニック	院 長	長 田 郁 夫
おおたにこども・ファミリークリニック	院 長	大 谷 英 之
岡本小児科医院	院 長	岡 本 賢
鳥取県立中央病院小児科	部 長	戸 川 雅 美
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経小児科学分野	助 教	中 村 裕 子
ふなきこどもクリニック	院 長	船 木 聡
鳥取大学医学部附属病院小児科	講 師	美 野 陽 一
北栄町役場教育総務課（子育て世代包括支援センター）	保 健 師	村 岡 美由紀
境港市役所健康づくり推進課地域保健係長	保 健 師	寺 澤 眞 理 ^{※1}

※1 令和7年7月1日就任

拡大新生児マススクリーニング検査小委員会委員名簿

(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

【敬称略／順不同】

所 属	役 職	氏 名
鳥取大学研究推進機構研究基盤センター	教 授	栗 野 宏 之
鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期・小児医学分野	教 授	難 波 範 行
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経小児科学分野	教 授	前 垣 義 弘
鳥取大学医学部器官制御外科学講座産科婦人科学分野	教 授	谷 口 文 紀
鳥取県産科婦人科医会	会 長	村 江 正 始
鳥取県立中央病院産婦人科	部 長	高 橋 弘 幸
鳥取県立厚生病院産婦人科	部 長	木 山 智 義
鳥取県小児科医会	会 長	石 谷 暢 男
北栄町役場教育総務課（子育て世代包括支援センター）	保 健 師	村 岡 美由紀
境港市役所健康づくり推進課地域保健係長	保 健 師	寺 澤 真 理 ^{※1}

※1 令和7年7月1日就任

鳥取県循環器病対策推進に関する小委員会委員名簿

(任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日)

(県は「循環器病対策推進に関する小委員会設置要綱」を令和4年5月13日に新設)

【心血管疾患関連】

【敬称略／順不同】

所 属	役 職	氏 名
鳥取大学医学部器官制御外科学講座心臓血管外科学分野	教 授	吉 川 泰 司
鳥取大学医学部統合内科医学講座循環器・内分泌代謝内科学分野	准 教 授	加 藤 克
加藤医院	院 長	加 藤 達 生
岩美病院	院 長	吉 田 泰 之
藤井政雄記念病院	院 長	宮 崎 聡
山陰労災病院 第3循環器科	部 長	水 田 栄之助
つのだ内科・循環器内科クリニック	院 長	角 田 郁 代
境港市自治連合会	会 長	畑 野 成 至※

【脳血管疾患関連】

【敬称略／順不同】

所 属	役 職	氏 名
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経外科学分野	教 授	黒 崎 雅 道
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経外科学分野	准 教 授	坂 本 誠
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野	教 授	花 島 律 子
鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科学分野	講 師	瀧 川 洋 史
鳥取県立厚生病院	医 長	阪 田 良 一
中安脳神経・内科クリニック	院 長	中 安 弘 幸
鳥取県立中央病院脳神経外科	部 長	田 渕 貞 治
ウエルフェア北園渡辺病院	名誉院長	日 笠 親 績
鳥取県立厚生病院	副 院 長	紙 谷 秀 規
野島病院脳神経外科	部 長	竹 内 啓 九
(株)皆生グランドホテル天水／華水亭	代表取締役社長	伊 坂 明※

※患者及び患者であった者並びにこれらの者の家族又は遺族を代表する者

令和7年度鳥取県健康対策協議会事業計画

() の数字は令和7年度予算額

(単位：千円)

1. がん登録対策専門委員会【委員長：尾崎米厚（鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野教授）】

事業内容	摘要
1. 令和3年（2021年）がん罹患・受療状況標準集計 2. 補充届出票による遡り調査、各種検診発見がんからの登録 3. 「全国がん登録データベースシステム」運用 ・オンライン届出の研修会の開催及び活用 4. 「鳥取県がん登録あり方検討ワーキンググループ」 検討会 (7,778)	1. 日本がん登録協議会第34回学術集会参加 (名古屋市) 2. 「鳥取県がん登録事業報告書（令和3. 4年集計）」作成

2. 胃がん対策専門委員会【委員長：岡田克夫（鳥取県医師会常任理事）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 胃がん検診の読影と胃がん検診発見胃がん患者の確定調査 3. 胃がん検診精密検査医療機関登録 4. 胃がん一次検診における内視鏡検査の精度管理 5. 車検診におけるデジタル化に伴う読影 6. 胃がん対策としてのピロリ菌検査・ペプシノゲン検査 の検討 (4,897)	1. 各地区読影委員会設置 2. 従事者講習会及び症例研究会（東部） 3. 大腸がん検診従事者講習会及び症例研究会との合同開催方法検討 4. 胃がん実施体制の見直し検討（対象年齢・受診間隔） 5. 第56回日本消化器がん検診学会中国四国 地方会参加（倉敷市）

3. 子宮がん対策専門委員会【委員長：皆川幸久（鳥取県保健事業団総合保健センター所長）】

事業内容	摘要
1. 検診実施状況の評価・検討（特に精検受診率の改善） 2. 検診発見がん患者の確定調査 3. 精密検査紹介状及び確定調査結果報告の運用状況評価 4. 若年者の受診率向上対策 5. HPV検査単独法に関する情報収集と課題整理の継続 6. HPVワクチン接種勧奨 (1,458)	1. 従事者講習会及び症例検討会（東部） 2. 子宮がん検診細胞診委員会設置

4. 肺がん対策専門委員会【委員長：小谷昌広（鳥取大学医学部附属病院がんセンター長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 精密検査による肺がん確定診断の調査 3. 肺がん検診精密検査医療機関登録 4. 肺がん医療機関検診実施 5. デジタル化に伴う読影 6. 肺がん検診細胞診検査の精度管理向上対策（22,302）	1. 従事者講習会及び症例研究会（西部） 2. 肺がん検診読影委員会及び細胞診委員会設置 3. 肺がん個別検診読影委員会設置

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：山口由美（鳥取赤十字病院第二外科部長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 乳がん検診一次検査（乳房エックス線撮影）医療機関登録 3. 乳がん検診精密検査医療機関登録 4. 検診発見乳がん患者の確定調査及びマンモグラフィ単独検診の検証 5. 乳がん検診受診票・精検報告書の運用 6. マンモグラフィ読影医師資格更新費用助成（18,787）	1. 従事者講習会及び症例検討会（東部） 2. 各地区症例検討会 3. 鳥取県乳がん検診マンモグラフィ読影委員会設置

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：濱本哲郎（博愛病院消化器内科部長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 検診発見大腸がん患者の確定調査 3. 大腸がん検診精密検査医療機関登録 (560)	1. 従事者講習会及び症例研究会（東部） 2. 胃がん検診従事者講習会及び症例研究会との合同開催方法検討 3. 大腸がん注腸読影委員会設置 4. 大腸がん検診読影講習会 5. 大腸がん注腸読影指導会

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：孝田雅彦（日野病院長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 肝臓がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見肝臓がん患者の確定調査（575）	1. 従事者講習会及び症例研究会（鳥取県医学会：東部）

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：吉田泰之（岩美病院院長）】

事業内容	摘要
1. 乳幼児・児童生徒の心臓疾患対策 2. 心電図判読 3. 心臓疾患精密検査医療機関登録 (5,161)	1. 各地区判読委員会設置 2. 心臓検診従事者講習会（東部） 3. 第57回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会（鳥取市）

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：難波範行（鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期・小児医学分野教授）】

事業内容	摘要
1. 母子保健事業の評価 2. 母子保健に係る「切れ目のない支援体制」・「鳥取県産後健康診査事業」（令和元年度（平成31年度）より開始） 3. 鳥取県乳幼児健康診査マニュアル・5歳児健診マニュアル改訂について 4. 拡大新生児マススクリーニング検査の推進 (875)	1. 母子保健対策小委員会開催 5歳児健診マニュアル、乳幼児健診マニュアルの改定について検討 2. 拡大新生児マススクリーニング検査小委員会開催 3. 研修会開催

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：瀬川謙一（鳥取県医師会副会長）】

事業内容	摘要
1. 鳥取県の肝細胞癌の実態と非ウイルス性肝疾患の拾い上げ研究等（5項目） 2. 母子保健調査研究 (3,011)	1. 「疾病構造の地域特性対策専門委員会報告（第39集）」発行

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：辻田哲朗（鳥取県医師会副会長）】

事業内容	摘要
1. 健康教育対策 2. 地域保健対策 3. 生活習慣病対策 (2,151)	1. 公開健康講座、生活習慣病対策セミナー（とっとり県民カレッジ連携講座） 2. 地域保健対策研究事業

12. 生活習慣病対策専門委員会【委員長：谷口晋一（鳥取大学医学部地域医療学講座教授）】

事業内容	摘要
1. 特定健診・特定保健指導実施状況の評価、検討 2. 慢性腎臓病対策事業の検討 (960)	1. 鳥取県循環器病対策推進計画の進捗管理と課題抽出 2. 循環器病対策推進に関する小委員会（脳・心血管疾患）開催（2回；Web開催）

13. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：荒金美斗（鳥取県福祉保健部健康医療局長）】

事業内容	摘要
1. 地域医療の充実、特に地域医療を担う医師の育成についての検討 2. 鳥取県の健康、医療に関わる計画について検討 (139)	

別 記 (18)

令和7年度鳥取県健康対策協議会予算書

〈収入の部〉

(単位：千円)

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
1. 県 支 出 金		24,854	24,164	690	
1) 委 託 金		19,747	20,487	△740	
(1) がん登録及び解析 評価事業費委託金	1. がん登録及び解析 評価事業費委託金	7,242	7,242	0	委託金6,584千円 + 消費税658千円
(2) 県民健康対策調査 研究事業費委託金	1. 県民健康対策調査 研究事業費委託金	2,973	2,973	0	委託金2,703千円 + 消費税270千円
(3) 健康診査管理支援 事業費委託金	1. 健康診査管理支援 事業費委託金	2,677	2,677	0	委託金2,434千円 + 消費税243千円
(4) 生活習慣病予防セミナー 開催事業費委託金	1. 生活習慣病予防セミナー 開催事業費委託金	1,450	1,450	0	委託金1,318千円 + 消費税132千円
(5) がん検診精度確保 事業費委託金	1. がん検診精度確保 事業費委託金	3,704	3,704	0	委託金3,367千円 + 消費税337千円
(6) 肝臓がん検診従事者講習会 開催等事業費委託金	1. 肝臓がん検診従事者講習会 開催等事業費委託金	293	293	0	委託金266千円 + 消費税27千円
(7) 肺がん医療機関検診読影 委員会開催事業費委託金	1. 肺がん医療機関検診読影 委員会開催事業費委託金	603	603	0	委託金548千円 + 消費税55千円
(8) 母子保健推進体制 整備事業費委託金	1. 母子保健推進体制 整備事業費委託金	805	805	0	委託金732千円 + 消費税73千円
(9) 循環器病に関する研修会 及び普及啓発等事業	1. 循環器病に関する研修会 及び普及啓発等事業	0	740	△740	令和7年度から脳卒中・心臓 病等総合支援センター（鳥取 大学）へ委託変更
2) 県 負 担 金		5,107	3,677	1,430	
(1) 事務局強化対策 負担金	1. 事務局強化対策 負担金	5,107	3,677	1,430	
2. 保健事業団支出金		23,144	25,245	△2,101	
1) 委 託 金		22,744	24,845	△2,101	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
(1)胃集検読影 事業費委託金		4,050	4,840	△790	@450×9,000件 (消費税等込み)
	1. 胃 集 検 読 影 事 業 費 委 託 金	4,050	4,840	△790	
(2)子宮がん検診 事業費委託金		1,009	1,009	0	細胞診1次直接塗抹法 @440×20件 細胞診1次LBC法 @330×630件 最終判定@990×800件 (消費税等込み)
	1. 子 宮 が ん 検 診 事 業 費 委 託 金	1,009	1,009	0	
(3)肺がん検診 事業費委託金		4,485	4,586	△101	胸部X線読影料 @121×35,000件 細胞診1次@440×500件 最終判定@990×30件 (消費税等込み)
	1. 肺 が ん 検 診 事 業 費 委 託 金	4,485	4,586	△101	
(4)乳がん検診 事業費委託金		8,800	10,010	△1,210	マンモグラフィ読影料 @800×11,000件 (消費税等込み)
	1. 乳 が ん 検 診 事 業 費 委 託 金	8,800	10,010	△1,210	
(5)若年者心臓検診 事業費委託金		4,400	4,400	0	判読料@220×20,000件 (消費税等込み)
	1. 心 電 図 判 読 検 査 事 業 費 委 託 金	4,400	4,400	0	
2) 補 助 金		400	400	0	
(1)各専門委員会 連絡調整補助金		400	400	0	
	1. 各 専 門 委 員 会 連 絡 調 整 補 助 金	400	400	0	
3. 市町村等支出金		23,840	23,100	740	
1) 市町村委託金		23,840	23,100	740	
(1)肺がん医療機関 検診事業費委託金		15,840	15,400	440	胸部X線読影料 @440×36,000件 (消費税等込み)
	1. 肺 が ん 医 療 機 関 検 診 事 業 費 委 託 金	15,840	15,400	440	
(2)乳がん検診 事業費委託金		8,000	7,700	300	マンモグラフィ読影料 @800×10,000件 (消費税等込み)
	1. 乳 が ん 検 診 事 業 費 委 託 金	8,000	7,700	300	
4. その他委託金		822	1,056	△234	
1) 委 託 金		822	1,056	△234	
(1)若年者心臓検診 事業費委託金		385	627	△242	いなば財団@220×1,500件 (消費税込み) 岩美病院@220×250件 (消費税込み)
	1. 心 電 図 判 読 検 査 事 業 費 委 託 金	385	627	△242	
(2)胃集検読影 事業費委託金		225	220	5	中国労働衛生協会 @450×500件(消費税等込み)
	1. 胃 集 検 読 影 事 業 費 委 託 金	225	220	5	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
(3)肺がん検診 事業費委託金		132	132	0	中国労働衛生協会 @132×1,000件 (消費税等込み)
	1. 肺がん検診 事業費委託金	132	132	0	
(4)乳がん検診 事業費委託金		80	77	3	
	1. 乳がん検診 事業費委託金	80	77	3	
5. 県医師会補助金		1,300	1,300	0	
1) 県医師会補助金		1,300	1,300	0	
(1)運営費補助金		1,300	1,300	0	
	1. 運営費補助金	1,300	1,300	0	
6. 寄 付 金		1	1	0	
1) 寄 付 金		1	1	0	
(1)寄 付 金		1	1	0	
	1. 寄 付 金	1	1	0	
7. 諸 収 入		58	47	11	労働保険料事業主立替分収入
1) 預 金 利 子		12	1	11	
(1)預 金 利 子		12	1	11	
	1. 預 金 利 子	12	1	11	
2) 労働者保険料 被保険者負担分収入		46	46	0	
(1)労働者保険料 被保険者負担分収入		46	46	0	
	1. 労働者保険料 被保険者負担分収入	46	46	0	
8. 繰 越 金		5,739	3,861	1,878	
1) 前年度繰越金		5,739	3,861	1,878	
(1)前年度繰越金		5,739	3,861	1,878	
	1. 前 年 度 繰 越 金	5,739	3,861	1,878	
収 入 合 計		79,758	78,774	984	

〈支出の部〉

(単位：千円)

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
1. 総 務 費		8,058	6,577	1,481	
1) 会 議 費		789	788	1	
(1) 理 事 会 費		789	788	1	
	9. 旅 費	285	285	0	理事会（1回）250,000円 監事会10,000円、車代25,000円
	11. 需 用 費	444	443	1	資料印刷代370,000円、消耗品費21,400円 理事会会議諸費7,000円 新聞購読料45,600円
	12. 役 務 費	50	50	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	10	10	0	会場使用料
2) 各 専 門 委 員 会 連 絡 調 整 費		1,396	1,396	0	
(1) 各 専 門 委 員 会 連 絡 調 整 費		1,396	1,396	0	
	9. 旅 費	767	785	△18	総合部会270,000円、車代7,000円 一般旅費270,000円 ・事業打合せ35,000円 健康医療相談235,000円 全国がん検診指導者講習会（事務 局・東京）220,000円
	11. 需 用 費	411	418	△7	コピー代30,000円、食糧費30,000円 消耗品費70,000円、会報印刷代148,000円 封筒印刷代133,000円
	12. 役 務 費	203	183	20	電話代60,000円、郵送料105,000円 振込手数料24,800円 IB基本手数料13,200円
	14. 使 用 料	15	10	5	会場使用料
3) 給 料		3,746	2,316	1,430	専従職員1名分
(1) 給 料		3,746	2,316	1,430	
	19. 負 担 金	3,746	2,316	1,430	
4) 納税申告作成費		316	316	0	
(1) 消費税申告作成費		78	78	0	
	8. 報 償 費	77	77	0	消費税申告書作成報酬
	12. 役 務 費	1	1	0	通信運搬費
(2) 会計・給料システム レ ン タ ル 料		238	238	0	
	12. 役 務 費	2	2	0	通信運搬費
	14. 賃 借 料	236	236	0	会計システムレンタル料79,200円 給料システムレンタル料79,200円 マイポータルレンタル料66,000円 法定調書ソフト11,000円
5) 公 租 公 課 費		1,811	1,761	50	
(1) 公 租 公 課 費		1,811	1,761	50	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
	27. 公租公課費	1,811	1,761	50	健康対策費のうち以下の項目で公租公課費 1,775千円支出 ※ 胃がん対策費 100千円 子宮がん対策費 20千円 肺がん対策費 1,200千円 乳がん対策費 375千円 若年者心臓検診対策費 80千円 小 計 1,775千円 合 計 3,586千円
2. 健康対策費		71,700	72,197	△497	
1) がん登録費		7,778	7,803	△25	
(1) がん登録費		7,778	7,803	△25	
	4. 共 済 費	406	380	26	非常勤任用職員（1人） 社会保険料300,000円 労働保険料106,000円
	7. 賃 金	5,590	5,542	48	がん登録事務補助員 賃金 @1,100×1,250時間×4人=5,500,000円 通勤手当90,000円
	8. 報 償 費	106	106	0	報告書執筆謝金50,000円 全国がん登録研修会講師謝礼（1名） 55,685円
	9. 旅 費	338	405	△67	専門委員会（1回）110,000円 ワーキンググループ会議（1回）30,000円 全国がん登録オンライン届出研修会旅費 50,000円 日本がん登録協議会20,000円 診断票検査旅費 120,000円、車代8,000円
	11. 需 用 費	560	740	△180	「がん登録事業報告書」印刷代400,000円 会報印刷代100,000円、食糧費10,000円 コピー代30,000円、消耗品費20,000円
	12. 役 務 費	143	270	△127	通信運搬費等118,000円 振込手数料10,000円 日本がん登録協議会参加費1名 15,000円
	13. 委 託 料	300	300	0	全国がん登録データ取り込み等一式
	14. 使 用 料	35	60	△25	会場使用料
	18. 備品購入費	300	0	300	ノートパソコン購入代金
2) 胃がん対策費		4,897	5,387	△490	
(1) 胃がん対策費		4,897	5,387	△490	
	4. 共 済 費	132	54	78	非常勤任用職員（1人）社会保険料 120,000円 労働保険料12,000円
	7. 賃 金	765	664	101	非常勤任用職員1人分賃金（4か月分）
	8. 報 償 費	2,193	2,245	△52	講習会講師謝金111,370円 読影謝金 @10,500×195人=2,047,500円 胃がん検診発見患者確定調査謝金 33,411円
	9. 旅 費	432	712	△280	専門委員会（2回）200,000円 車代2,000円 日本消化器がん検診学会中国四国地方会 （倉敷市）145,000円 がん征圧大会20,000円 講習会講師交通費・宿泊代65,000円 コピー代50,000円、消耗品費77,200円 食糧費43,000円、会報印刷代120,000円 各地区読影会事務費60,000円 看板作成代8,800円
	11. 需 用 費	359	388	△29	通信運搬費62,000円、振込手数料30,000円 読影委員傷害保険料54,000円
	12. 役 務 費	146	194	△48	
	13. 委 託 料	720	880	△160	がん検診読影業務委託料（東部、中部）

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
3) 子宮がん対策費 (1) 子宮がん対策費	14. 使用料	50	100	△50	会場借上料
	27. 公租公課費	100	150	△50	
		1,458	1,428	30	
		1,458	1,428	30	
	8. 報 償 費	990	990	0	講習会講師謝金111,370円 細胞診一次謝金 直接塗抹法 @350×20件=7,000円 細胞診一次謝金 LBC法 @250×630件=157,500円 最終判定謝金 @850×800件=680,000円 子宮がん検診発見患者確定調査謝金 33,411円
	9. 旅 費	260	240	20	専門委員会(2回)170,000円、車代10,000円 講習会講師交通費・宿泊代80,000円
	11. 需用費	88	88	0	消耗品費10,000円、食糧費9,200円 会報印刷代60,000円、看板作成代8,800円
	12. 役 務 費	50	40	10	通信運搬費、送金手数料
	14. 使用料	50	50	0	会場借上料
	27. 公租公課費	20	20	0	
4) 肺がん対策費 (1) 肺がん対策費		22,302	21,031	1,271	
		21,699	20,428	1,271	
	4. 共 済 費	193	80	113	非常勤任用職員(1人)社会保険料 173,000円 労働保険料20,000円
	7. 賃 金	1,845	1,668	177	非常勤任用職員2人分賃金
	8. 報 償 費	13,111	12,901	210	講習会講師謝金111,370円 フィルム読影料 @65×36,000件 =2,340,000円 読影謝金(車検診) @9,500×200人 =1,900,000円 〃 (医療機関) @9,500×760人 =7,220,000円 〃 (車検診+医療機関) @11,500×115人 =1,322,500円 細胞診一次謝金 @350×500件 =175,000円 最終判定謝金 @850×10件 =8,500円 肺がん検診発見患者確定調査謝金33,411円
	9. 旅 費	458	500	△42	専門委員会(2回)300,000円、車代20,000円 講習会講師交通費・宿泊代(1回)138,000円
	11. 需用費	2,222	1,989	233	コピー代162,000円、食糧費21,200円 会報印刷代130,000円、消耗品費100,000円 看板作成代8,800円 地区医師会事務費900,000円 各地区読影会会場費 @6,000×150日=900,000円
	12. 役 務 費	1,410	1,040	370	通信運搬費90,000円、振込手数料50,000円 読影委員傷害保険料70,000円 デジタル画像読影装置保守点検料 1,200,000円
	13. 委託料	700	600	100	がん検診読影業務委託料(中部)
	14. 使用料	200	200	0	会場借上料
	18. 備品購入費	360	250	110	ノートパソコン購入代金
	27. 公租公課費	1,200	1,200	0	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
(2) 肺がん医療機関検診読影委員会対策費		603	603	0	
	8. 報 償 費	262	262	0	医療機関検診従事者講習会講師謝金 89,096円 座長等謝金12,600円 肺がん医療機関検診読影委員会出席手当 (2回) 160,000円
	9. 旅 費	85	85	0	肺がん医療機関検診読影委員会旅費 70,000円 講習会講師交通費15,000円
	11. 需 用 費	166	166	0	コピー代46,000円、消耗品費80,000円 印刷代40,000円
	12. 役 務 費	40	40	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	50	50	0	会場借上料
5) 乳がん対策費		18,787	19,384	△597	
(1) 乳がん対策費		17,987	18,584	△597	
	4. 共 済 費	67	26	41	非常勤任用職員(1人)社会保険料 60,000円 労働保険料7,000円
	7. 賃 金	383	332	51	臨時的任用職員1人分賃金(2か月分)
	8. 報 償 費	13,860	14,295	△435	講習会講師謝金111,370円 マンモグラフィ読影料 ③320×10,000件×2人=6,400,000円 ③11,500×610人=7,015,000円 乳がん検診発見患者確定調査33,411円 各地区読影委員会・症例検討会出席手当 300,000円
	9. 旅 費	340	450	△110	専門委員会(2回)220,000円 車代20,000円 講習会講師交通費・宿泊代(1回) 100,000円
	11. 需 用 費	828	828	0	食糧費9,200円、会報印刷代150,000円 消耗品費70,000円、コピー代70,000円 看板作成費8,800円 各地区読影会会場費 ③6,000×70日=420,000円 地区医師会事務費100,000円
	12. 役 務 費	1,124	1,228	△104	通信運搬費110,000円 振込手数料84,000円 読影委員傷害保険料30,000円 保守点検料900,000円
	13. 委 託 料	760	800	△40	がん検診読影業務委託料(東部、中部)
	14. 使 用 料	250	250	0	会場借上料
	27. 公租公課費	375	375	0	
(2) マンモグラフィ読影 医師資格更新助成費		800	800	0	
	11. 需 用 費	10	10	0	コピー代5,000円、消耗品費5,000円
	12. 役 務 費	20	20	0	通信運搬費、振込手数料
	19. 負 担 金	770	770	0	乳がん検診マンモグラフィ読影認定医資格A及びB者更新に係る経費(受講料、受験料、旅費)助成 10人分
6) 大腸がん対策費		560	560	0	
(1) 大腸がん対策費		560	560	0	
	8. 報 償 費	145	145	0	講習会講師謝金111,370円 大腸がん検診発見患者確定調査謝金 33,411円

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
7) 肝臓がん対策費	9. 旅 費	220	220	0	専門委員会(2回)170,000円、車代10,000円 講習会講師交通費・宿泊代(1回)40,000円
	11. 需 用 費	105	105	0	会報印刷代58,000円、食糧費10,000円 看板作成代8,800円、消耗品費28,200円
	12. 役 務 費	50	50	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	40	40	0	会場借上料
		575	575	0	
	(1) 肝臓がん対策費	575	575	0	
	8. 報 償 費	145	145	0	講習会講師謝金111,370円 肝臓がん検診発見患者確定調査33,411円
	9. 旅 費	250	240	10	専門委員会(2回)180,000円 症例研究会旅費20,000円 講習会講師交通費・宿泊代40,000円 車代10,000円
	11. 需 用 費	80	80	0	会報印刷代55,000円、食糧費1,000円 コピー代10,000円、看板作成代8,800円 消耗品費5,200円
	12. 役 務 費	60	40	20	通信運搬費
8) がん検診精度確保対策費	14. 使 用 料	40	70	△30	会場借上料
		3,046	3,004	42	
	(1) がん検診精度確保対策費	3,046	3,004	42	
	8. 報 償 費	850	850	0	講習会講師謝金460,000円 症例研究会等出席手当360,000円 各がん検診症例研究会謝金30,000円
	9. 旅 費	770	870	△100	各がん検診症例研究会旅費570,000円 学会旅費200,000円
	11. 需 用 費	1,026	980	46	報告書印刷代820,000円、会議費20,000円 資料印刷代50,000円、会報印刷代46,000円 消耗品費40,000円、コピー代30,000円 看板代20,000円
	12. 役 務 費	150	150	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	250	154	96	会場借上料
		5,161	5,257	△96	
	(1) 若年者心臓検診対策費	5,161	5,257	△96	
9) 若年者心臓検診対策費	8. 報 償 費	3,921	3,996	△75	講習会講師謝金111,370円×2人 心電図判読料@170×21,750件=3,697,500円
	9. 旅 費	561	653	△92	専門委員会(1回)100,000円 車代1,000円 講習会旅費260,000円 打合せ200,000円
	11. 需 用 費	399	408	△9	消耗品費34,800円、食糧費5,000円 県教職員名簿2,000円 会報印刷代80,000円、コピー代50,000円 看板代8,800円 各地区事務費@10×21,750件=217,500円
	12. 役 務 費	70	50	20	通信運搬費
	14. 使 用 料	100	50	50	会場借上料
	19. 負 担 金	30	20	10	若年者心疾患・生活習慣病対策協議会年 会費(3人)

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
10) 母子保健対策費	27. 公租公課費	80	80	0	
		875	829	46	
	(1) 母子保健対策協議会対策費	875	829	46	
	7. 賃 金	20	20	0	講習会（1回）アルバイト代2名分
	8. 報 償 費	112	89	23	講習会講師謝金55,685円×2人×1回
	9. 旅 費	495	500	△5	専門委員会（1回）150,000円、車代2,000円 小委員会（3回）165,000円 講習会旅費58,000円 拡大マス小委員会（3回）120,000円
	11. 需 用 費	118	90	28	消耗品費6,000円、コピー代22,000円 会議費5,000円、会報印刷代60,000円 資料印刷代25,000円
	12. 役 務 費	30	30	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	100	100	0	会場借上料（1回分）
	11) 県民健康対策費	3,011	3,011	0	
(1) 疾病構造調査等研究費		3,011	3,011	0	
	8. 報 償 費	2,500	2,500	0	疾病構造調査研究謝金（5項目） 2,000,000円 母子保健調査研究謝金500,000円
	9. 旅 費	41	41	0	専門委員会（1回）40,000円、車代1,000円
	11. 需 用 費	330	330	0	報告書印刷製本費210,000円 会議費5,000円 会報印刷代44,000円、コピー代21,000円 消耗品費50,000円
	12. 役 務 費	130	130	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	10	10	0	会場借上料
	12) 公衆衛生活動費	2,151	2,139	12	
	(1) 地域保健対策費	451	451	0	
	8. 報 償 費	121	121	0	「健康相談室」原稿料 @5,011×24回
	9. 旅 費	201	201	0	専門委員会（1回）80,000円、車代1,000円 調査研究作業部会（2回）120,000円
(2) 健康教育対策費	11. 需 用 費	77	77	0	会報印刷代30,000円、消耗品費21,000円 食糧費8,000円、コピー代18,000円
	12. 役 務 費	32	32	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	20	20	0	会場借上料
		450	450	0	
	8. 報 償 費	260	260	0	各地区健康教育活動講演会講師謝金 260,000円
	9. 旅 費	30	30	0	各地区健康教育活動に係った出席旅費 30,000円
	11. 需 用 費	90	90	0	看板代30,000円、コピー代40,000円 印刷代20,000円
	12. 役 務 費	10	10	0	通信運搬費

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
(3) 公開健康講座 対策費	14. 使用料	60	60	0	会場借上料
		296	284	12	
	8. 報 償 費	207	207	0	保健の窓原稿料@10,023×5回=50,115円 講師謝金@20,046×5回=100,230円 スライド作成費@11,137×5回=55,685円
	9. 旅 費	44	32	12	講師旅費17,620円、司会旅費25,000円 車代1,380円
	11. 需用費	25	25	0	コピー代
	12. 役 務 費	10	10	0	通信運搬費
	14. 使用料	10	10	0	会場借上料
		954	954	0	
	8. 報 償 費	570	570	0	保健の窓原稿料@10,023×7回=70,161円 講師謝金@20,046×16回=320,736円 スライド作成費@11,137×16回=178,192円
	9. 旅 費	78	78	0	講師旅費36,000円、司会旅費42,000円
	11. 需用費	236	236	0	印刷代200,000円、消耗品費36,000円
	12. 役 務 費	40	40	0	通信運搬費
13) 生活習慣病対策費 (1) 生活習慣病対策費	14. 使用料	30	30	0	会場借上料
		960	1,650	△690	
		960	1,650	△690	
	8. 報 償 費	0	401	△401	
	9. 旅 費	630	629	1	専門委員会200,000円 脳卒中に係る小委員会(2回)215,000円 心疾患に係る小委員会(2回)215,000円
	11. 需用費	240	440	△200	会報印刷代180,000円、食糧費5,000円 コピー代35,000円、消耗品費20,000円
	12. 役 務 費	60	60	0	通信運搬費
	14. 使用料	30	120	△90	会場借上料
		139	139	0	
		139	139	0	
	9. 旅 費	100	100	0	専門委員会(1回)、車代
	11. 需用費	20	20	0	食糧費、会報印刷代
14) 地域医療研修及び 健康情報対策費 (1) 地域医療研修及び 健康情報対策費	12. 役 務 費	7	7	0	通信運搬費
	14. 使用料	12	12	0	会場借上料
支 出 合 計		79,758	78,774	984	

令和7年度鳥取県健康対策協議会予算の概要

(単位：千円)

事業名	支出予算額	収 入 予 算 額					
		県支出金	事業団支出金	市町村等支出金	その他委託金	医師会補助金	利息その他
1. がん登録対策	7,778	7,242				24	512
2. 胃がん対策	4,897	262	4,050		225		360
3. 子宮がん対策	1,458	270	1,009			80	99
4. 肺がん対策	22,302	863	4,485	15,840	132		982
5. 乳がん対策	18,787	1,060	8,800	8,000	80		847
6. 大腸がん対策	560	260				130	170
7. 肝臓がん対策	575	293				110	172
8. がん検診精度 確保対策	3,046	2,904				45	97
9. 若年者心臓検診 対策	5,161	200	4,400		385		176
10. 母子保健対策	875	805					70
11. 県民健康対策	3,011	2,973					38
12. 公衆衛生活動 対策	2,151	1,450	400			195	106
13. 生活習慣病対策	960	860				20	80
14. 地域医療研修及び 健康情報対策	139					130	9
15. 総 務 費	8,058	5,412				566	2,080
合 計	79,758	24,854	23,144	23,840	822	1,300	5,798